

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			54
	客観性	思考的思慮深い			59
活動型	身体性	機敏な・気軽な			51
	気分性	感情のまま行動			42
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			59
	規則性	常識的・順法的			48
積極型	競争性	勝気な・積極的			48
	自尊心	気ぐらいが高い			41
自制型	慎重性	見通しをつける			53
	弱気さ	取越苦労・遠慮			49

■この人の中心性格は「思索・客観性」および「努力・持続性」であるが、「思索・内閉性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「思索・客観性」及び「努力・持続性」の人のパーソナリティスケッチ
 社会性をそなえていて他人への配慮もみられる。発想は着実でありながら、非常にセンスのよい意見をもっている。また、物事があるがままに客観的にとらえ、キチンと把握することができる。非常に豊かな内面性をもっているが、周囲の状況に左右されなところがあるため、おっとりしているとか、逆に抜け目がないなどの印象を与えることがある。そして、何事にも真面目で、丹念に取り組むことができ、節度ある常識人という感じでも見られる。努力家であり、手掛けたことはいつまでも大事にし、時間をかけてでも自分に納得のいくまでかかわっていくとする。難題にぶつかっても、あっさりとかきらめたり放り出したりすることは少なく、とりあえず現状の方法で努力し、違うとなれば次の手段を考えて、もう一度取りかかったりする。派手さはないが安定感があるといえる。自分自身についても深く内省していて、含蓄のある言葉が自然に出たりもする。知識や経験の豊富さにもよるが、参謀的な登用をすれば、組織にも当人にも有益であろう。

●もう一方の性格特性
 おだてに乗せられる事がなく、自分自身をよく見つめている大人である。「分」をわかまえていて、すがすがしい印象を与える。決して自分をおごり高ぶらず、落ち着いている。それは自己信頼のためであると考えたい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数	
日常周辺事型			36	俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
客観・科学型			40	雑知識が妨害し、一面的な角度から物事を見ようとする。
社会・経済型			34	世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。
心理・情緒型			46	
● 審美・芸術型			87	芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の正確さにやや欠けているが、全く信頼できないというほどの診断結果ではない。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			50
協調性			61
責任感			66
自己信頼性			53
指導性			59
共感性			63
感情安定性			49
従順性			52
自主性			47
モットー傾向			38

仲間に協力的であり、共通の目標に向かうことができる。
 任された仕事や役割を理解し、意見に責任を持っている。

皆の意見や考えを大切にし、協同作業などは熱心である。

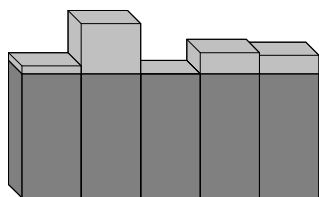
今の環境や生活、生き方などに自信をもち安定している。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			55
自律 欲求			52
求知 欲求			51
危機 耐性			53
勤労 意欲			54
顕示 欲求			50
支配 欲求			56
親和 欲求			58
秩序 欲求			50
物質的欲望			43

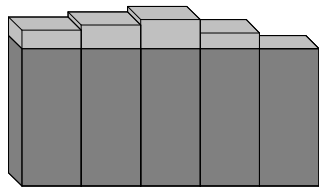
■この人は「対人関係が気になる」系統の欲求群が一番強く、ついで「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群となっている。逆に「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】



- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲

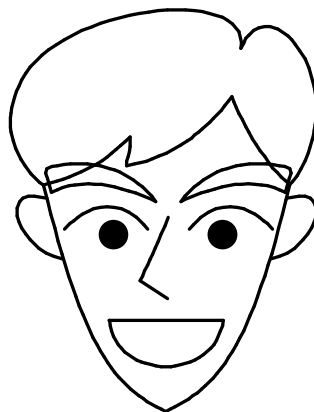
【組織だって仕事を進める能力】



- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性

【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	63
(2) 海外など精神力の必要な職務	40
(3) 足腰のよさが武器になる職務	42
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	51
(5) 標準化された仕事や工場労働	58

【判定結果B】当人の傾向

「内勤型職務」 「外勤型職務」
 「組織型人間」 「非組織人間」

【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (2) 「適度」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (3) 「適度」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (4) 「適度」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (5) 「小適」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (6) 「小適」研究的、探索的な仕事や活動の領域

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適切」人事管理者
- (2) 「適切」人事専任者
- (3) 「適度」秘書専任者
- (4) 「適度」基礎研究管理者
- (5) 「適度」企画専任者
- (6) 「適度」企画管理者

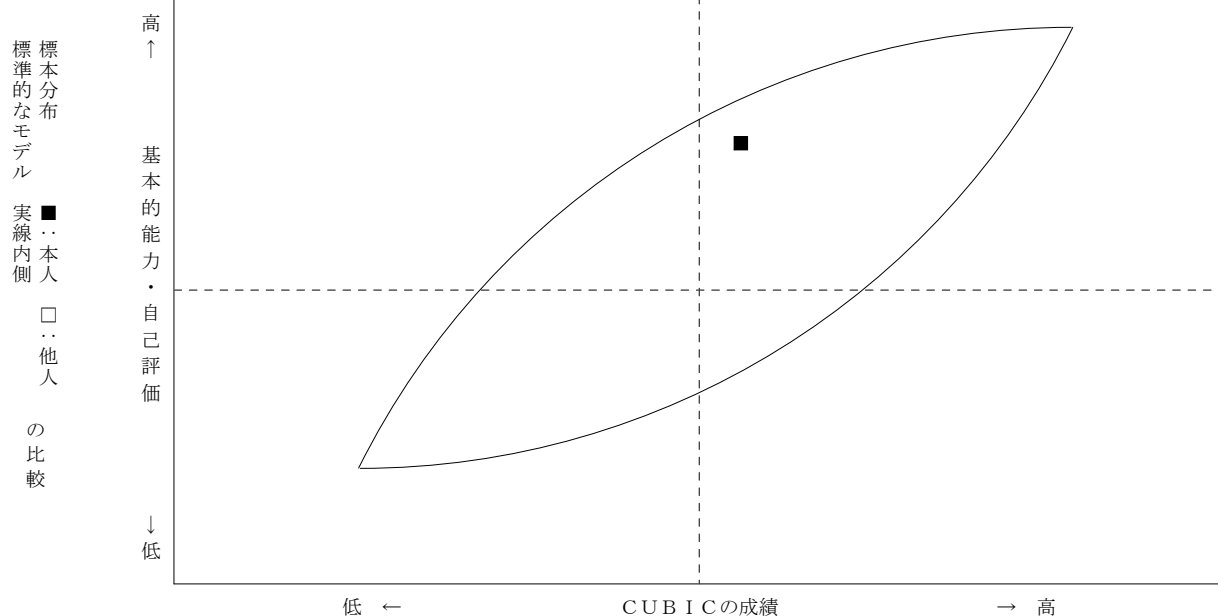
《低い順》

- (1) 「努力」経理管理者
- (2) 「努力」営業専任者
- (3) 「努力」経理専任者
- (4) 「小適」営業管理者
- (5) 「小適」研究開発者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「適切」庶務
- (2) 「適切」人事
- (3) 「適度」編集校正
- (4) 「適度」営業アシスト
- (5) 「適度」総務
- (6) 「適度」物流

- (1) 「努力」購買
- (2) 「小適」経営企画
- (3) 「小適」営業（活動タイプ）
- (4) 「小適」調査分析
- (5) 「小適」営業（慎重タイプ）



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			38
	客観性	思考的思慮深い			50
活動型	身体性	機敏な・気軽な			54
	気分性	感情のまま行動			42
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			53
	規則性	常識的・順法的			40
積極型	競争性	勝気な・積極的			53
	自尊心	気ぐらいが高い			41
自制型	慎重性	見通しをつける			50
	弱気さ	取越苦労・遠慮			33

■この人の中心性格は「活動・身体性」および「努力・持続性」であるが、「積極・競争性」や「思索・客観性」といった側面も本人は意識している。

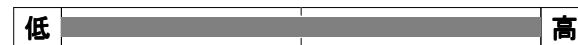
●「活動・身体性」及び「努力・持続性」の人のパーソナリティスケッチ
 テキパキと行動して、思ったことは素早く実行に移すことができる。体を動かして物事を解決していくタイプの人。また環境への適応力があり、状況の変化にもたやすくついていくことができる。「活動性」と「忍耐力」が主な特性である。熱意のあまり感情的になってしまうこともあるが、わりと情緒的にも安定しており一定のリズムをもって生活をしている。手掛けた事を途中で放り出すといった、気分屋なところも目立たない。発想は思いつきや感覚的なものが多いが、理詰な考え方をすることもできる。社会性も身につけており大人の印象を与える。また、コツコツと努力する几帳面な人でもある。丹念に物事にあたり、地道に時間をかけても納得のいくまでかかわるような努力家である。それでいて、それほど規則や秩序にこだわらず、状況に応じた判断をすることができる。常識をわかまえているが、四角四面ではなく、発想も杓子定規な固定的なものではない。成熟したパーソナリティーの持ち主で周囲からも模範的な見られかたをしている。

●もう一方の性格特性
 精神的には安定していて、不安症・劣等感といった神経症とは現在は縁がない。表面的にもオドオドしたり、イライラした感じは見られず、行動や発言にはしかるべき自分なりの理由をもってしている。暗い影のようなものがなく、明るい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数	
日常周辺事型			29	俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
客観・科学型			40	雑知識が妨害し、一面的な角度から物事を見ようとする。
社会・経済型			26	世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。
心理・情緒型			35	人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。
● 審美・芸術型			100	芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			64
協調性			56
責任感			55
自己信頼性			73
指導性			47
共感性			50
感情安定性			57
従順性			36
自主性			68
モットー傾向			28

率先して業務に取り組み、意見や考えを進んで提案する。

自信があるため、大きな目的をクリアーすることもある。

強く命令されたり注意されると、相手に対し反感をもつ。

自己の決断において、自発的に仕事をすることができる。

今の環境や生活、生き方などに自信をもち安定している。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			64
自律 欲求			59
求知 欲求			54
危機 耐性			68
勤労 意欲			64
顕示 欲求			55
支配 欲求			45
親和 欲求			44
秩序 欲求			41
物質的欲望			50

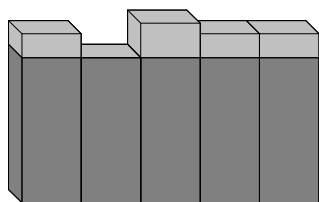
困難な目標や難しい事に挑戦し、達成に向けて努力する。

全面的な自我崩落にならない、危機対応力を備えている。

仕事をしていくことで、自己実現をはかろうとしている。

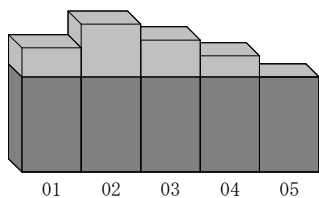
■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群となっている。逆に「対人関係が気になる」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】



- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲

【組織だって仕事を進める能力】



- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性

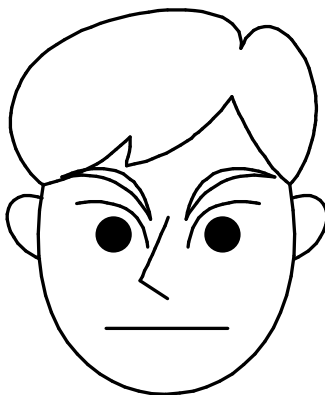
【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性
 瞳の直径：達成欲求
 鼻の高さ：顕示欲求
 顔の輪郭：性格類型

眉の傾き：従順性
 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 口の形状：親和欲求+協調性

逆三角顔 = 思索型
 エラ顔 = 積極型
 細長顔 = 自制型

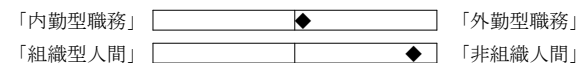
丸顔 = 活動型
 角顔 = 努力型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	42
(2) 海外など精神力の必要な職務	61
(3) 足腰のよさが武器になる職務	57
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	53
(5) 標準化された仕事や工場労働	45

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「適切」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (2) 「適切」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (3) 「適切」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (4) 「適度」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (5) 「小適」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (6) 「努力」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「最適」基礎研究者
- (2) 「最適」基礎研究管理者
- (3) 「適切」研究管理者
- (4) 「適切」研究開発者
- (5) 「適切」営業管理者
- (6) 「適切」営業専任者

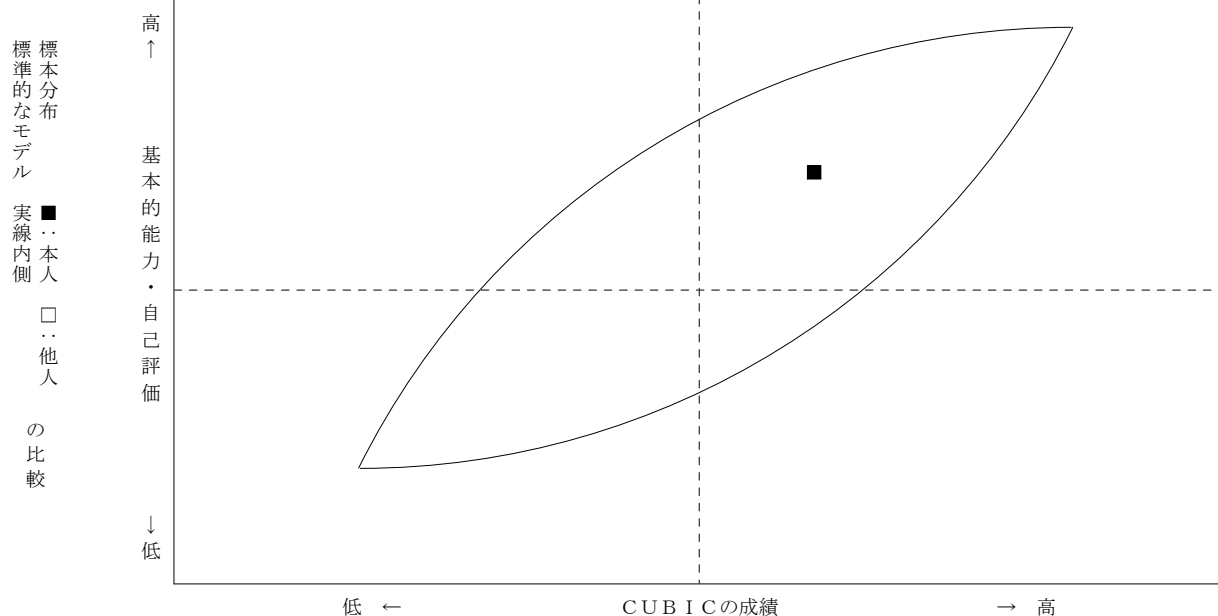
《低い順》

- (1) 「努力」営繕専任者
- (2) 「適度」秘書専任者
- (3) 「適度」人事専任者
- (4) 「適度」経理管理者
- (5) 「適度」人事管理者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「最適」新規事業開発
- (2) 「最適」基礎研究
- (3) 「適切」顧客開発
- (4) 「適切」調査分析
- (5) 「適切」研究開発
- (6) 「適切」商品企画・開発

- (1) 「努力」購買
- (2) 「努力」総務
- (3) 「努力」倉庫
- (4) 「小適」受注窓口
- (5) 「小適」庶務



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			48
	客観性	思考的思慮深い			55
活動型	身体性	機敏な・気軽な			58
	気分性	感情のまま行動			54
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			59
	規則性	常識的・順法的			44
積極型	競争性	勝気な・積極的			53
	自尊心	気ぐらいが高い			58
自制型	慎重性	見通しをつける			53
	弱気さ	取越苦勞・遠慮			49

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「活動・身体性」であるが、「積極・自尊心」や「思索・客観性」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「活動・身体性」の人のパーソナリティスケッチ

努力を信条とし、目標に向けて一生懸命に励む性格である。手掛けた事は丁寧に処理しキチンとしている。途中であきらめてしまうことは少なく、物事には粘り強く取り組んでいく忍耐力もある。見方によっては、それが執念深さとしてうつることもある。そして、独自の価値観にそった判断をしているが、発想は堅苦しいものばかりではなく、ユニークさも持ちあわせている。自分の考えはあらかじめ用意しているが、いろいろな計画を立てるときは、自分だけの勝手な判断で決定するのではなく、他人の意見も取入れながら考えていこうとする。また、身が軽く体を動かして物事を解決していくところもある。だからといって、思いついたら何も考えずに即実行といった軽薄さや、気分で行動したりすることは少ないため大きな失敗はあまりない。新しい環境の変化にもそれほど時間をかけずに適応することができる。場や雰囲気にもまれることなく、精神的にも安定している。まれに感情的になってしまうこともあるが、人情もろくてお人好みな性格である。

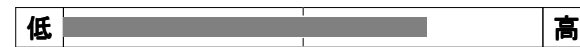
●もう一方の性格特性

規則や秩序を気にせず、自由奔放な行動をとる。常識的、固定的な発想ばかりでなく、柔軟な考え方ができる。ルールにしばられてコチコチなわけでもなく、気ままな生活ぶりである。ただ、社会秩序を気にしないことが何に関係するか見極めが必要かも知れない。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数	
日常周辺事型			40	俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
客観・科学型			47	
社会・経済型			42	
心理・情緒型			46	
審美・芸術型			62	芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			50
協調性			52
責任感			46
自己信頼性			53
指導性			50
共感性			55
感情安定性			45
従順性			43
自主性			57
モトリアム傾向			41

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

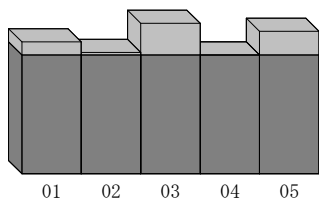
意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			45
自律 欲求			56
求知 欲求			50
危機 耐性			50
勤労 意欲			54
顕示 欲求			57
支配 欲求			45
親和 欲求			54
秩序 欲求			44
物質的欲望			68

モノを獲得し保持したいなど、資産的な事に關心がある。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群となっている。逆に「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

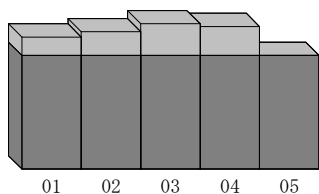
【仕事に立ち向かう姿勢】

- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲



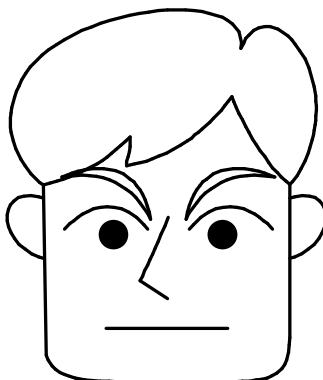
【組織だって仕事を進める能力】

- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性



【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性		40
(2) 海外など精神力の必要な職務		45
(3) 足腰のよさが武器になる職務		50
(4) 集中力、緻密さの必要な職務		43
(5) 標準化された仕事や工場労働		37

【判定結果B】当人の傾向

「内勤型職務」 「外勤型職務」
 「組織型人間」 「非組織人間」

【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (2) 「適切」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (3) 「適度」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (4) 「適度」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (5) 「努力」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (6) 「努力」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適切」基礎研究管理者
- (2) 「適切」基礎研究者
- (3) 「適度」営業管理者
- (4) 「適度」研究管理者
- (5) 「適度」営業専任者
- (6) 「適度」研究開発者

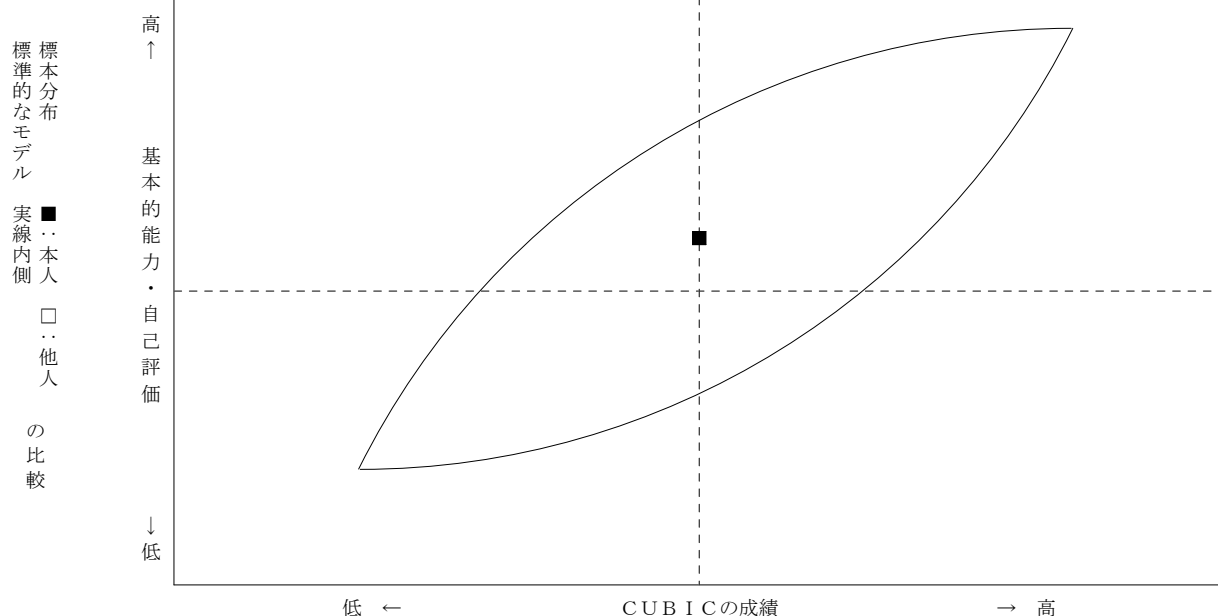
《低い順》

- (1) 「努力」人事専任者
- (2) 「努力」経理管理者
- (3) 「努力」営繕専任者
- (4) 「努力」経理専任者
- (5) 「努力」人事管理者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「適切」顧客開発
- (2) 「適切」広報
- (3) 「適切」新規事業開発
- (4) 「適切」研究開発
- (5) 「適切」経営企画
- (6) 「適切」商品企画・開発

- (1) 「努力」購買
- (2) 「努力」人事
- (3) 「努力」経理
- (4) 「努力」秘書
- (5) 「努力」受注窓口



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			38
	客観性	思考的思慮深い			50
活動型	身体性	機敏な・気軽な			67
	気分性	感情のまま行動			42
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			56
	規則性	常識的・順法的			48
積極型	競争性	勝気な・積極的			55
	自尊心	気ぐらいが高い			53
自制型	慎重性	見通しをつける			57
	弱気さ	取越苦勞・遠慮			42

■この人の中心性格は「活動・身体性」および「自制・慎重性」であるが、「努力・持続性」や「積極・競争性」といった側面も本人は意識している。

●「活動・身体性」及び「自制・慎重性」の人のパーソナリティスケッチ

行動的であり、思い付いたことは素早く実行する。環境への適応力があり、状況の変化にもたやすくついていける。やや思索性に欠けるきらいがあるが、実際の活動には向いている。行動的ではあるが情緒的にも安定しており、一定のリズムをもって生活をしている。また、手掛けはじめたことを途中で放り出すような気分屋的な所はあまり見られない。やや感覚的といえるが、発想も思い付きばかりではない。筋道をたてた理詰めの考え方をすることができる。一方では、過信せず見通しがつくまで動かないという慎重さも本質のひとつである。思いやりがあり自分を抑えるよさがあるが、問題が起こるとあっさりとして流してしまうときと、責任を一人で感じ、いつまでもとこし苦勞をしてしまう気弱な面とが交互にあらわれたりする。行動的なときはよいが、慎重すぎると自分のできることだけを内々に小さく表現しようとする傾向があり、失敗を恐れるあまり果敢にうってでることができない。しかし、病的な暗さはなく、手堅さは評価することができる。

●もう一方の性格特性

内向的でなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも腐心し、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるというサビの部分欠ける。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

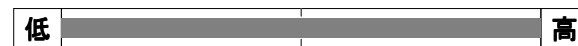
興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			40
客観・科学型			43
社会・経済型			38
心理・情緒型			49
審美・芸術型			66

俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。

世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。

芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			55
協調性			52
責任感			61
自己信頼性			56
指導性			56
共感性			52
感情安定性			57
従順性			46
自主性			54
モトリアム傾向			44

任された仕事や役割を理解し、意見に責任を持っている。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

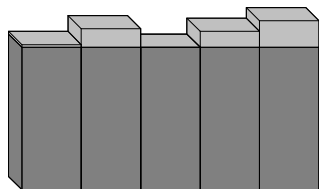
意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			60
自律 欲求			56
求知 欲求			51
危機 耐性			61
勤勞 意欲			64
顕示 欲求			48
支配 欲求			56
親和 欲求			44
秩序 欲求			47
物質的欲望			43

困難な目標や難しい事に挑戦し、達成に向けて努力する。

全面的な自我崩落にならない、危機対応力を備えている。仕事をしていくことで、自己実現をはかろうとしている。

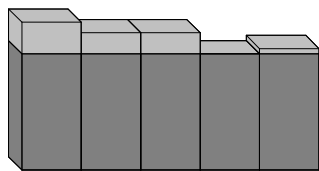
■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群となっている。逆に「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】



- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲

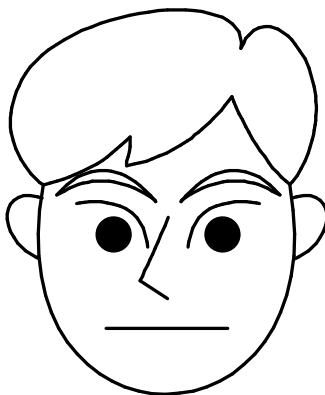
【組織だって仕事を進める能力】



- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性

【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	60
(2) 海外など精神力の必要な職務	64
(3) 足腰のよさが武器になる職務	56
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	66
(5) 標準化された仕事や工場労働	60

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (2) 「最適」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (3) 「適切」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (4) 「適切」営業など対人的接触をとまう仕事
- (5) 「適切」物を対象とする、具体的で実務的な仕事
- (6) 「小適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「最適」基礎研究管理者
- (2) 「最適」基礎研究者
- (3) 「適切」営業管理者
- (4) 「適切」人事管理者
- (5) 「適切」営業専任者
- (6) 「適切」研究管理者

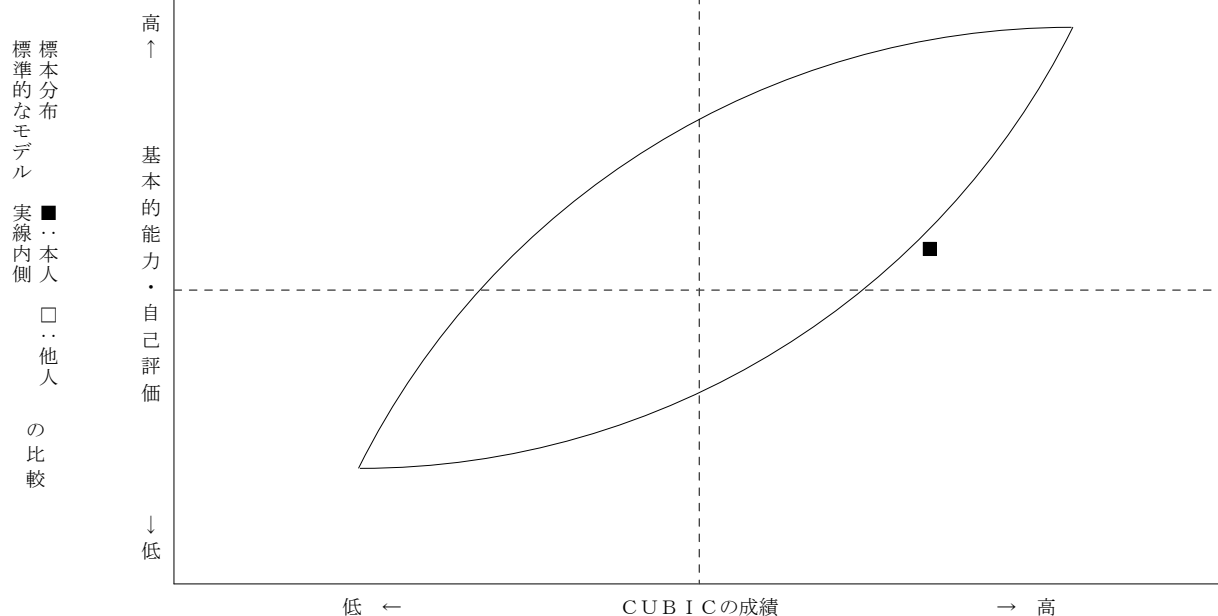
《低い順》

- (1) 「小適」管 繕 専 任 者
- (2) 「適切」経 理 専 任 者
- (3) 「適切」企 画 専 任 者
- (4) 「適切」企 画 管 理 者
- (5) 「適切」広 報 専 任 者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「最適」新規事業開発
- (2) 「最適」基礎研究
- (3) 「最適」顧客開発
- (4) 「最適」編集校正
- (5) 「最適」経営企画
- (6) 「適切」研究開発

- (1) 「適度」総 務
- (2) 「適度」受注窓口
- (3) 「適度」購 買
- (4) 「適度」営業 アシスト
- (5) 「適切」倉 庫



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			31
	客観性	思考的思慮深い			63
活動型	身体性	機敏な・気軽な			74
	気分性	感情のまま行動			77
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			50
	▲ 規則性	常識的・順法的			19
積極型	● 競争性	勝気な・積極的			81
	● 自尊心	気ぐらいが高い			89
自制型	慎重性	見通しをつける			53
	弱気さ	取越苦労・遠慮			49

■この人の中心性格は「積極・自尊心」および「積極・競争性」であるが、「活動・気分性」や「活動・身体性」といった側面も本人は意識している。

●「積極・自尊心」及び「積極・競争性」の人のパーソナリティスケッチ
 困難に遭遇したときは他に働きかけ、外にうってでる外向的な人。積極性があるといえるが、他罰的傾向もみられる。競争心がつよくて、他者と競合させると実力以上の成果をみせることもある。自己顕示欲があり、目立ちたがり。勝気な性格である。
 気位が高く、自分が評価されていると感じることが最大の満足。一人よがりな面がみられ、自尊心を満たすことで生きている。プライドを傷つけられないよう細心の注意をはらう。またおだてに乗せられやすく、ちょっと褒めてやるとその気になってしまう。

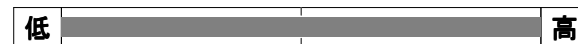
●もう一方の性格特性
 規則や秩序を気にせず、自由奔放な行動をとる。常識的、固定的な発想ばかりでなく、柔軟な考え方ができる。ルールにしばられてコチコチなわけでもなく、気ままな生活ぶりである。ただ、社会秩序を気にしないことが何に関係するか見極めが必要かも知れない。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			40
客観・科学型			63
社会・経済型			34
心理・情緒型			55
審美・芸術型			41

俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
 物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。
 世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			62
協調性			44
責任感			46
自己信頼性			47
指導性			62
共感性			55
感情安定性			23
▲ 従順性			18
● 自主性			82
モトリアム傾向			59

率先して業務に取り組み、意見や考えを進んで提案する。

人に頼りにされ、皆をまとめるリーダー的な役割をする。

少しの事でも理性を忘れて、それが意見や行動に現れる。

強く命令されたり注意されると、相手に対し反感をもつ。

自己の決断において、自発的に仕事をすることができる。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			64
自律 欲求			70
求知 欲求			74
危機 耐性			50
勤労 意欲			69
顕示 欲求			73
支配 欲求			52
親和 欲求			62
秩序 欲求			25
物質的欲望			68

困難な目標や難しい事に挑戦し、達成に向けて努力する。

人に頼ったりするより、精神的に独立し自力で生きたい。

新奇なことに挑戦したり、周囲の環境を変えていきたい。

仕事をしていくことで、自己実現をはかろうとしている。

環境の中で実力を発揮し、それを皆に認めてもらいたい。

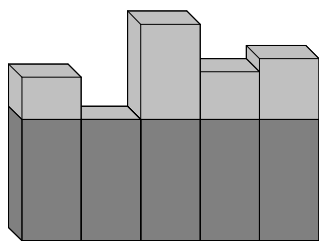
仲間とは競争関係にならず、協力しあい穏やかでいたい。

多様な価値観や人間関係、状態を認め理解しようとする。

モノを獲得し保持したいなど、資産的な事に關心がある。

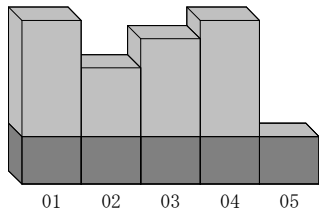
■この人は「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群となっている。逆に「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】



- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲

【組織だって仕事を進める能力】



- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性

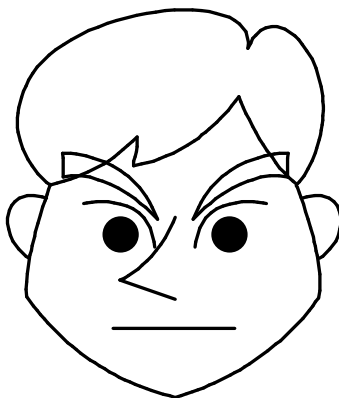
【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性
 瞳の直径：達成欲求
 鼻の高さ：顕示欲求
 顔の輪郭：性格類型

眉の傾き：従順性
 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 口の形状：親和欲求+協調性

逆三角顔 = 思索型
 エラ顔 = 積極型
 細長顔 = 自制型

丸顔 = 活動型
 角顔 = 努力型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	■	34
(2) 海外など精神力の必要な職務	■	66
(3) 足腰のよさが武器になる職務	■	70
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	■	34
(5) 標準化された仕事や工場労働	■	41

【判定結果B】当人の傾向

「内勤型職務」 「外勤型職務」

「組織型人間」 「非組織人間」

【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (2) 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (3) 「適切」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (4) 「適切」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (5) 「適度」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (6) 「努力」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「最適」営業管理者
- (2) 「最適」広報管理者
- (3) 「適切」営業専任者
- (4) 「適切」研究管理者
- (5) 「適切」広報専任者
- (6) 「適切」企画管理者

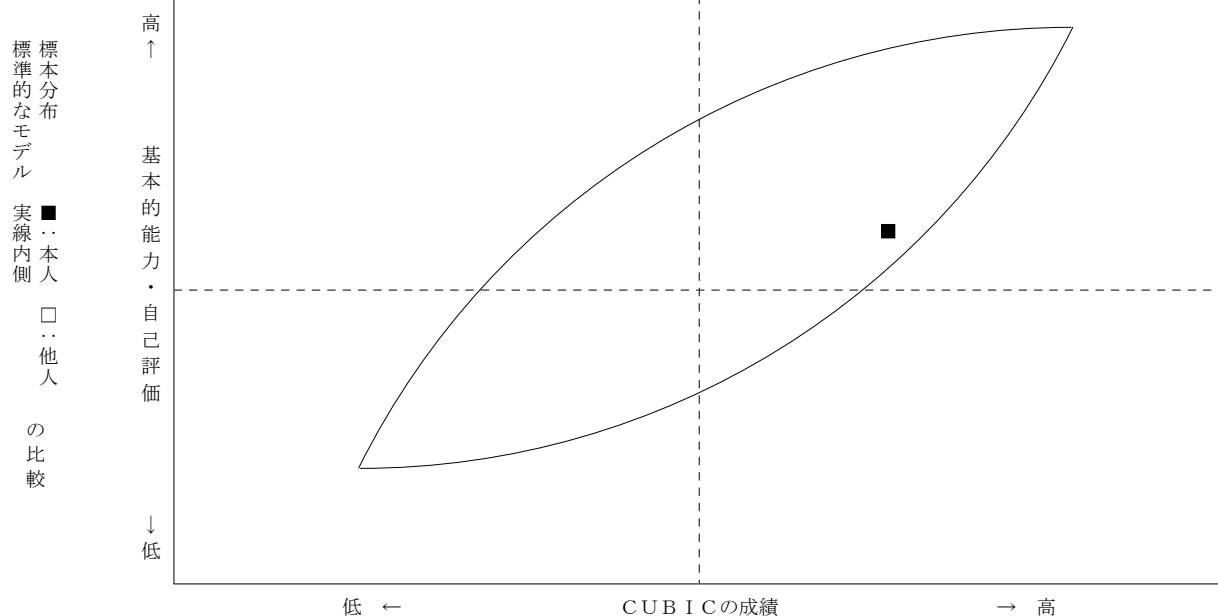
《低い順》

- (1) 「努力」経理専任者
- (2) 「努力」経理管理者
- (3) 「努力」営繕専任者
- (4) 「小適」秘書専任者
- (5) 「適度」人事専任者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「最適」経営企画
- (2) 「最適」新規事業開発
- (3) 「最適」顧客開発
- (4) 「適切」営業（積極タイプ）
- (5) 「適切」研究開発
- (6) 「適切」営業（活動タイプ）

- (1) 「努力」購買
- (2) 「努力」経理
- (3) 「努力」品質管理
- (4) 「努力」庶務
- (5) 「努力」倉庫



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			58
	客観性	思考的思慮深い			47
活動型	身体性	機敏な・気軽な			46
	気分性	感情のまま行動			54
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			42
	規則性	常識的・順法的			48
積極型	競争性	勝気な・積極的			41
	自尊心	気ぐらいが高い			50
自制型	慎重性	見通しをつける			50
	弱気さ	取越苦労・遠慮			57

■この人の中心性格は「思索・内閉性」および「自制・弱気さ」であるが、「活動・気分性」や「積極・自尊心」といった側面も本人は意識している。

●「思索・内閉性」及び「自制・弱気さ」の人のパーソナリティスケッチ
 自分の世界に入り込み、周りのことに関心をしめさないような内閉的な傾向がみられる。外界のことへの興味よりも、空想的場面のなかで、あれこれ思いをめぐらせているほうが心地よく感じている。あまりテキパキと動き回ることではなく、一見すると、つかみどころがないとか冷たいという印象を他人に与えてしまうことがあるが、本質は思いやりがあり、心やさしい人柄といえる。また、自分自身について深く内省していて、自分を含めた環境をあるがままに客観的にとらえようとする傾向があり、物事をしっかりと把握している。行動面としては、過信したり過大な評価をせず、確実な見通しがつくまで動かないという慎重なところがある。しかしそれは、引込み思案で、控え目な性格であるためだといえる。自分にできることだけを、小さく内々に表現しようとする。遠慮がちで、思い切って果敢な行動にうつれず、人の後ろにつきたがる気弱さがある。人前で緊張したり、気持ちに余裕がなくなる状況になると、多少不安定な行動をとる可能性がある。

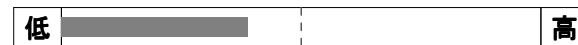
●もう一方の性格特性
 人に負けたくないというビリビリした競争心がなく、むしろ他人には寛容な性格である。目立つより人と協調していこうとする心やさしいところがある。実力を誇示し、自分を認めさせようとして「オレがオレが」ということがなく、控えめである。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			47
客観・科学型			50
社会・経済型			34
心理・情緒型			52
審美・芸術型			58

世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。

信頼係数



回答の正確さにやや欠けているが、全く信頼できないというほどの診断結果ではない。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			37
協調性			40
責任感			42
自己信頼性			41
指導性			41
共感性			55
感情安定性			41
従順性			55
自主性			42
モットー傾向			51

今、自分が担当している職務以外は、あまり関心がない。相違点などは、歩み寄ったり譲り合おうとはせず独断的。

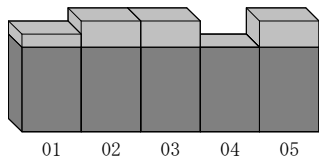
4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			32
自律 欲求			39
求知 欲求			50
危機 耐性			42
勤労 意欲			42
顕示 欲求			43
支配 欲求			41
親和 欲求			51
秩序 欲求			41
物質的欲望			43

■この人は「対人関係が気になる」系統の欲求群が一番強く、ついで「苦労を乗り越え、成長したい」系統の欲求群となっている。逆に「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

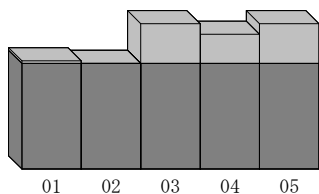
【仕事に立ち向かう姿勢】

- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲



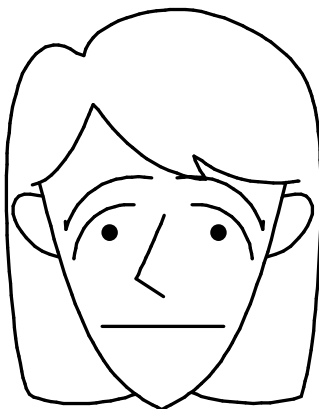
【組織だって仕事を進める能力】

- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性



【心理要素イメージ】

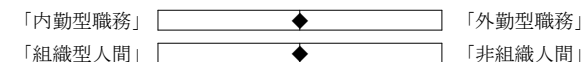
眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般の職場状況での可能性	■	38
(2) 海外など精神力の必要な職務	■	13
(3) 足腰のよさが武器になる職務	■	23
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	■	33
(5) 標準化された仕事や工場労働	■	31

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「適度」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (2) 「努力」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (3) 「努力」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (4) 「努力」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (5) 「努力」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (6) 「努力」企画、組織の運営、経営管理のような仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

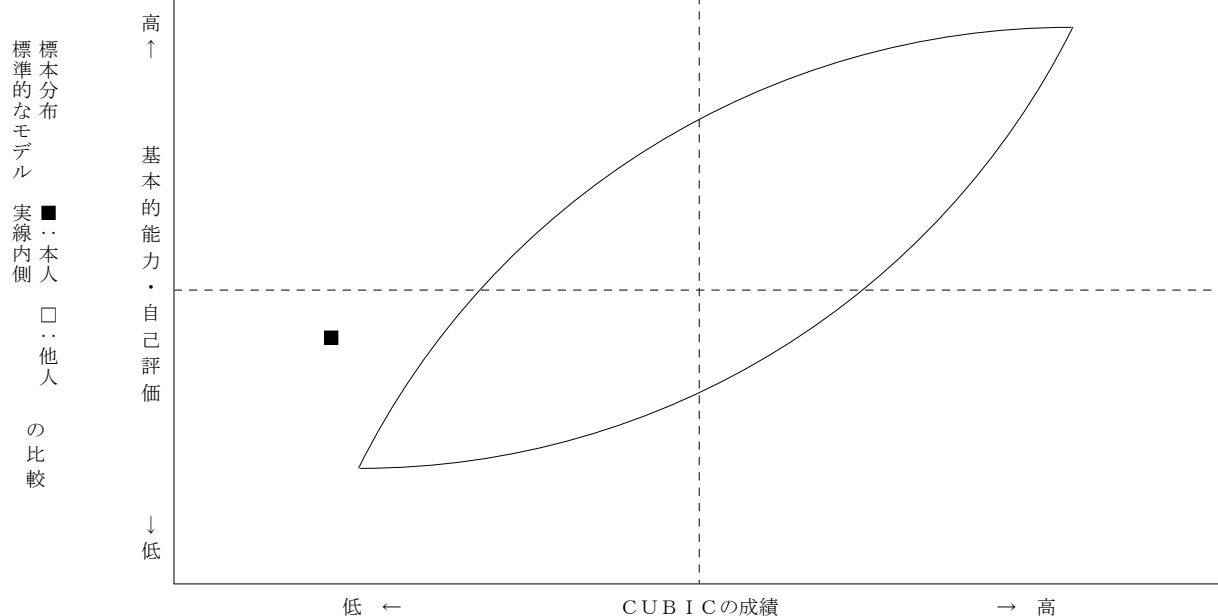
- (1) 「努力」営繕専任者
- (2) 「努力」基礎研究者
- (3) 「努力」基礎研究管理者
- (4) 「努力」秘書専任者
- (5) 「努力」研究開発者
- (6) 「努力」経理管理者

《低い順》

- (1) 「努力」広報管理者
- (2) 「努力」営業管理者
- (3) 「努力」営業専任者
- (4) 「努力」広報専任者
- (5) 「努力」企画管理者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「小適」総務
 - (2) 「小適」倉庫
 - (3) 「努力」庶務
 - (4) 「努力」品質管理
 - (5) 「努力」購買
 - (6) 「努力」秘書
- (1) 「努力」調査分析
 - (2) 「努力」教育研修
 - (3) 「努力」経営企画
 - (4) 「努力」新規事業開発
 - (5) 「努力」顧客開発



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			61
	客観性	思考的思慮深い			55
活動型	身体性	機敏な・気軽な			36
	気分性	感情のまま行動			72
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			39
	規則性	常識的・順法的			55
積極型	競争性	勝気な・積極的			53
	自尊心	気ぐらいが高い			53
自制型	慎重性	見通しをつける			65
	弱気さ	取越苦勞・遠慮			54

■この人の中心性格は「活動・気分性」および「自制・慎重性」であるが、「思索・内閉性」や「思索・客観性」といった側面も本人は意識している。

●「活動・気分性」及び「自制・慎重性」の人のパーソナリティスケッチ

思い付きは早く行動的であるが、すぐく身軽であるというほどではない。気分屋なところもあり、その日の気持ちや、感情に左右されやすいという傾向がみられる。調子が良いときには、周囲の動きにも敏感で、細かいことにもよく気がついたりするが、逆に気分が乗らないときは、何事にも関心がないように無頓着で、自分から進んで物事に取り組むといった積極性に欠け、尻の重たさを感じさせる。また、明確な見通しがつくまで動かないという慎重さもそなえている。ゆえに、よく考えてから行動を起こすときと、思い立ったら即実行に移してしまったり、また、抜け目がないと思わせるときとおっとりしていると感じさせるとき、物事を注意深く扱うときと、無雑作に扱うときとが交互にあらわれたり、という具合にその時々で態度が変わってしまうことがある。本来は親しみやすい人柄であるが、慎重すぎるどころが多少みられ、できることだけを小さく表現しようとするところがある。遠慮がちではあるが、病的な暗さはなく、手堅さは評価できる。

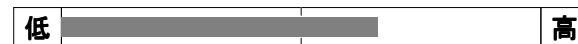
●もう一方の性格特性

行動力がなく、尻がおもたい印象をもたれている。身軽にテキパキと動きまわるというよりも、内にこもりがちな性格といえる。また、環境への適応力に欠けるためか、新しい人や土地に対してはなかなか馴染めずに、人嫌いと思われるところがある。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			47
客観・科学型			43
社会・経済型			46
心理・情緒型			49
審美・芸術型			58

信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、おおよその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			46
協調性			48
責任感			42
自己信頼性			47
指導性			50
共感性			67
感情安定性			45
従順性			46
自主性			51
モットー傾向			65

皆の意見や考えを大切に、協同作業などは熱心である。

仕事を含め、人生や現在の境遇に対して何か悩みがある。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

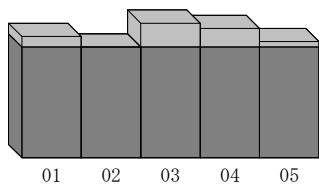
意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			49
自律 欲求			49
求知 欲求			50
危機 耐性			50
勤労 意欲			44
顕示 欲求			52
支配 欲求			56
親和 欲求			58
秩序 欲求			55
物質的欲望			61

モノを獲得し保持したいなど、資産的な事に関心がある。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「対人関係が気になる」系統の欲求群となっている。逆に「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

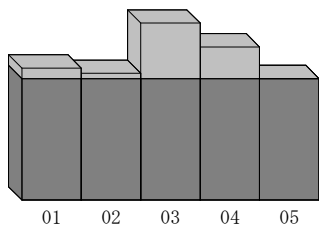
【仕事に立ち向かう姿勢】

- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲



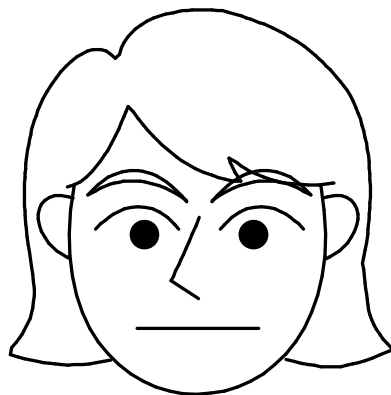
【組織だって仕事を進める能力】

- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性



【心理要素イメージ】

- 眉の太さ：指導性
- 瞳の直径：達成欲求
- 鼻の高さ：顕示欲求
- 顔の輪郭：性格類型
- 眉の傾き：従順性
- 目の傾き：達成欲求+求知欲求
- 口の形状：親和欲求+協調性
- 逆三角顔 = 思索型
- エラ顔 = 積極型
- 細長顔 = 自制型
- 丸顔 = 活動型
- 角顔 = 努力型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	██████████	52
(2) 海外など精神力の必要な職務	██████████	34
(3) 足腰のよさが武器になる職務	██████████	38
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	██████████	47
(5) 標準化された仕事や工場労働	██████████	47

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「適度」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (2) 「適度」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (3) 「努力」物を対象とする、具体的に実際的な仕事
- (4) 「努力」営業など対人的接触をとまう仕事
- (5) 「努力」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (6) 「努力」企画、組織の運営、経営管理のような仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「小適」営 繕 専 任 者
- (2) 「小適」企 画 管 理 者
- (3) 「小適」企 画 専 任 者
- (4) 「努力」人 事 管 理 者
- (5) 「努力」人 事 専 任 者
- (6) 「努力」秘 書 専 任 者

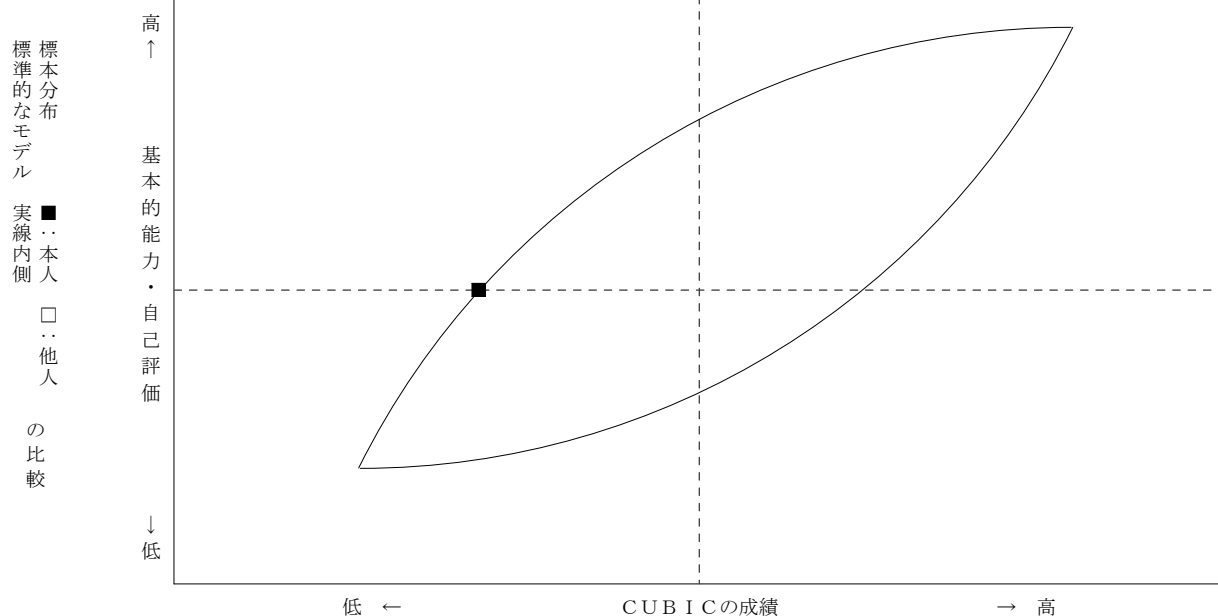
《低い順》

- (1) 「努力」営 業 専 任 者
- (2) 「努力」営 業 管 理 者
- (3) 「努力」研 究 開 発 者
- (4) 「努力」研 究 管 理 者
- (5) 「努力」広 報 専 任 者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「適切」庶 務
- (2) 「適度」総 務
- (3) 「適度」営 業 アシスト
- (4) 「適度」物 流
- (5) 「適度」購 買
- (6) 「小適」倉 庫

- (1) 「努力」経 営 企 画
- (2) 「努力」新 規 事 業 開 発
- (3) 「努力」顧 客 開 発
- (4) 「努力」営 業 (持 続 タグ)
- (5) 「努力」営 業 (活 動 タグ)



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			58
	客観性	思考的思慮深い			59
活動型	身体性	機敏な・気軽な			51
	気分性	感情のまま行動			50
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			45
	規則性	常識的・順法的			58
積極型	競争性	勝気な・積極的			50
	自尊心	気ぐらいが高い			45
自制型	慎重性	見通しをつける			47
	弱気さ	取越苦労・遠慮			39

■この人の中心性格は「思索・客観性」および「思索・内閉性」であるが、「努力・規則性」や「活動・身体性」といった側面も本人は意識している。

●「思索・客観性」及び「思索・内閉性」の人のパーソナリティスケッチ
 自分の世界を大事にして、外界のことに興味がない。他人と接触することが面倒であり、交友関係なども進んで持とうとはしない。審美的な生きかたをしていて、自分の信じる価値観のなかで生活している。交友関係は狭いが、つきあいはじめれば深くなる。自分もふくめて環境をあるがままに客観的にとらえようとする傾向がつよく、ものごとをキチンと把握しようとする。人情的にのめりこまず、冷たい印象を他人に与えることがあるが、自分自身について深く内省しているといえ、豊かな内面性をもつ。

●もう一方の性格特性
 精神的には安定していて、不安症・劣等感といった神経症とは現在は縁がない。表面的にもオドオドしたり、イライラした感じは見られず、行動や発言にはしかるべき自分なりの理由をもっている。暗い影のようなものがなく、明るい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			29
客観・科学型			47
社会・経済型			53
心理・情緒型			49
審美・芸術型			62

俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。

芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の正確さにやや欠けているが、全く信頼できないというほどの診断結果ではない。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			49
協調性			56
責任感			42
自己信頼性			56
指導性			50
共感性			47
感情安定性			57
従順性			55
自主性			44
モットー傾向			38

今の環境や生活、生き方などに自信をもち安定している。

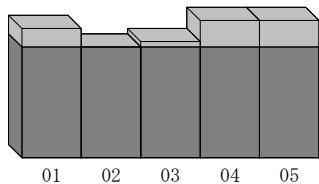
4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			52
自律 欲求			49
求知 欲求			41
危機 耐性			50
勤労 意欲			52
顕示 欲求			50
支配 欲求			56
親和 欲求			48
秩序 欲求			47
物質的欲望			50

■この人は「人より優位に立ちたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「対人関係が気になる」系統の欲求群となっている。逆に「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

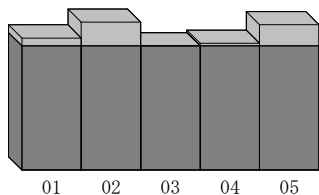
【仕事に立ち向かう姿勢】

- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲



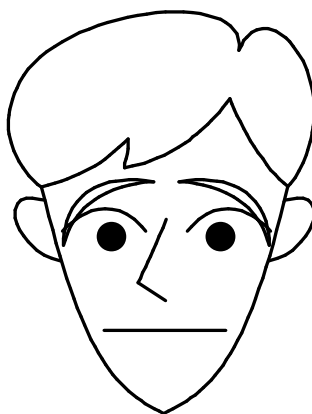
【組織だって仕事を進める能力】

- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性



【心理要素イメージ】

- 眉の太さ：指導性
- 瞳の直径：達成欲求
- 鼻の高さ：顕示欲求
- 顔の輪郭：性格類型
- 眉の傾き：従順性
- 目の傾き：達成欲求+求知欲求
- 口の形状：親和欲求+協調性
- 逆三角顔 = 思索型
- エラ顔 = 積極型
- 細長顔 = 自制型
- 丸顔 = 活動型
- 角顔 = 努力型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	56
(2) 海外など精神力の必要な職務	36
(3) 足腰のよさが武器になる職務	33
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	56
(5) 標準化された仕事や工場労働	52

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「適切」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (2) 「小適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (3) 「努力」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (4) 「努力」物を対象とする、具体的に実際の仕事
- (5) 「努力」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (6) 「努力」営業など対人的接触をとまらぬ仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適度」基礎研究者
- (2) 「適度」基礎研究管理者
- (3) 「適度」企画専任者
- (4) 「小適」研究開発者
- (5) 「小適」人事専任者
- (6) 「小適」人事管理者

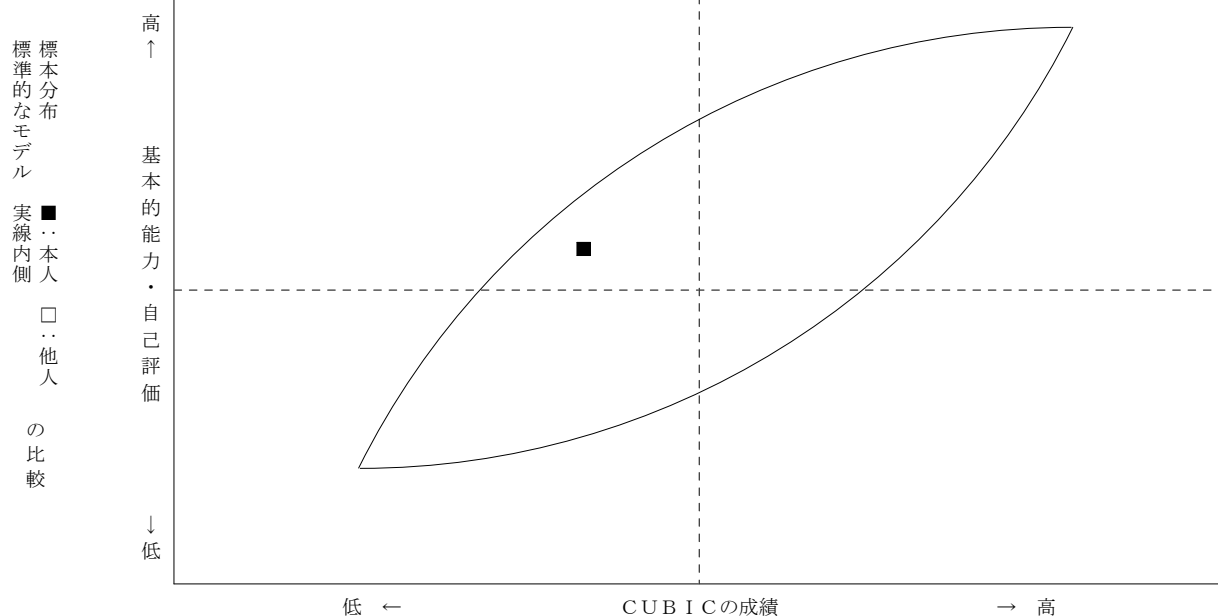
《低い順》

- (1) 「努力」営業管理者
- (2) 「努力」営業専任者
- (3) 「努力」広報管理者
- (4) 「努力」広報専任者
- (5) 「努力」経理専任者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「適切」庶務
- (2) 「適切」購買
- (3) 「適切」品質管理
- (4) 「適度」物流
- (5) 「適度」総務
- (6) 「適度」経理

- (1) 「努力」広報
- (2) 「努力」経営企画
- (3) 「努力」調査分析
- (4) 「努力」新規事業開発
- (5) 「努力」営業（慎重タイプ）



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			38
	客観性	思考的思慮深い			50
活動型	身体性	機敏な・気軽な			67
	気分性	感情のまま行動			59
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			59
	規則性	常識的・順法的			51
積極型	競争性	勝気な・積極的			53
	自尊心	気ぐらいが高い			37
自制型	慎重性	見通しをつける			69
	弱気さ	取越苦労・遠慮			42

■この人の中心性格は「自制・慎重性」および「活動・身体性」であるが、「活動・気分性」や「努力・持続性」といった側面も本人は意識している。

●「自制・慎重性」及び「活動・身体性」の人のパーソナリティスケッチ
 落ち着いた雰囲気もあり、何事もはっきりとした見通しがつくまで動かないという慎重さがみられる。また、斬新なアイデアがあるのかもしれないが、その評価の是非を気にするためか、慎重すぎるためか、自分の物差しの中でできる範囲内のことを限定して表現してしまう傾向がある。また、問題が起こると、何事もなかったようにあっさり流してしまうときと、責任を一人で感じて、いつまでも悩んでしまうようなときとが交互にあらわれる。もう少し、失敗を恐れない図太さがあるとよいが、慎重さ手堅さは評価できる。反面、思い立ったことは素早く実行するなど、ポジティブな行動をとることもできる。やや思索性に欠けるくらいがあるが、環境が変わっても柔軟に適応することができ、体を動かして物事を解決しようとする。そして、情緒的にも安定していて、一定のリズムをもって生活している。発想も感覚的な部分はあるが、堅実で筋道をたてた理詰めの考え方をすることができる。もっと良い特性を前面に出せばリーダー格になりうる人である。

●もう一方の性格特性
 おだてに乗せられる事がなく、自分自身をよく見つめている大人である。「分」をわかまえていて、すがすがしい印象を与える。決して自分をおごり高ぶらず、落ち着いている。それは自己信頼のためであると考えたい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			47
客観・科学型			47
社会・経済型			38
心理・情緒型			40
審美・芸術型			66

世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。
 人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。
 芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			62
協調性			61
責任感			61
自己信頼性			56
指導性			53
共感性			55
感情安定性			57
従順性			46
自主性			57
モトリアム傾向			50

率先して業務に取り組み、意見や考えを進んで提案する。
 仲間に協力的であり、共通の目標に向かうことができる。
 任された仕事や役割を理解し、意見に責任を持っている。

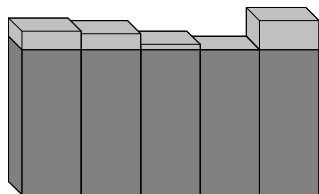
4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			55
自律 欲求			56
求知 欲求			66
危機 耐性			61
勤労 意欲			66
顕示 欲求			63
支配 欲求			56
親和 欲求			58
秩序 欲求			50
物質的欲望			77

新奇なことに挑戦したり、周囲の環境を変えていきたい。
 全面的な自我崩落にならない、危機対応力を備えている。
 仕事をしていくことで、自己実現をはかろうとしている。
 環境の中で実力を発揮し、それを皆に認めてもらいたい。
 モノを獲得し保持したいなど、資産的な事に関心がある。

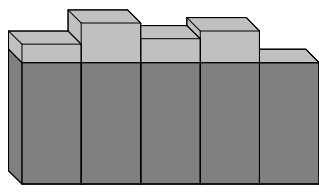
■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、
 ついで「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群となっている。
 逆に「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】



- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲

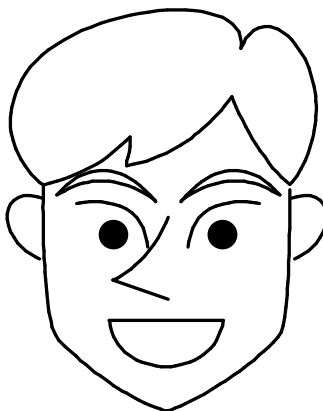
【組織だって仕事を進める能力】



- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性

【心理要素イメージ】

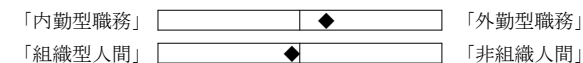
眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	57
(2) 海外など精神力の必要な職務	80
(3) 足腰のよさが武器になる職務	74
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	66
(5) 標準化された仕事や工場労働	63

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (2) 「最適」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (3) 「最適」物を対象とする、具体的に実際の仕事
- (4) 「適切」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (5) 「適切」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (6) 「適切」研究的、探索的な仕事や活動の領域

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「最適」広報専任者
- (2) 「最適」広報管理者
- (3) 「最適」企画専任者
- (4) 「最適」営業専任者
- (5) 「最適」営業管理者
- (6) 「最適」基礎研究者

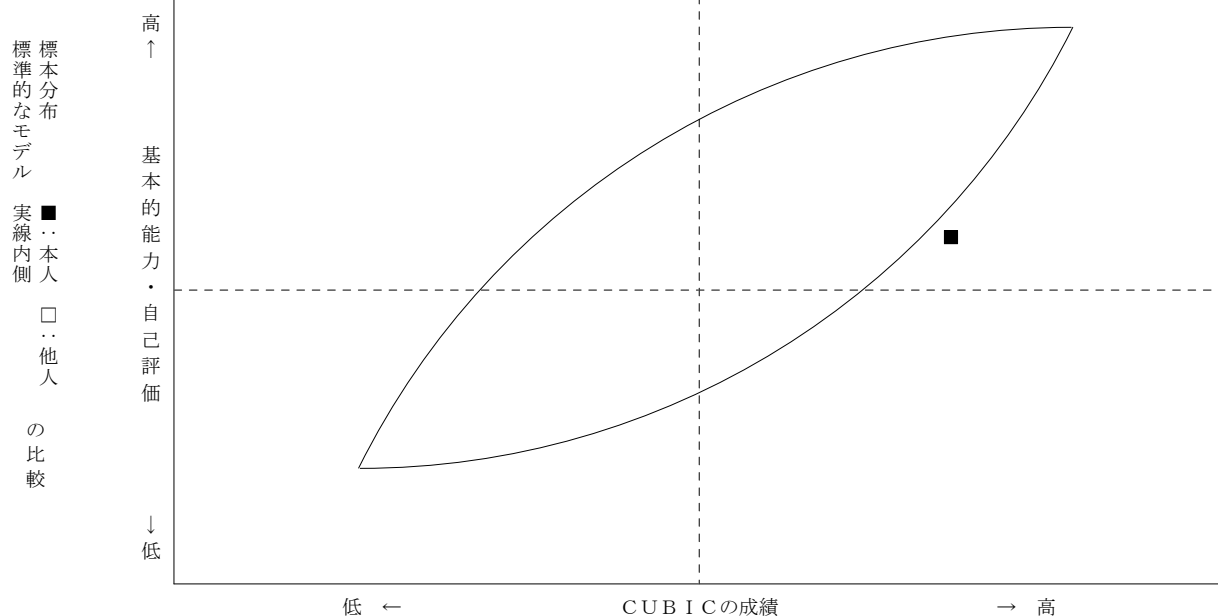
《低い順》

- (1) 「適切」経理管理者
- (2) 「適切」営繕専任者
- (3) 「適切」経理専任者
- (4) 「適切」秘書専任者
- (5) 「適切」研究開発者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「最適」広報
- (2) 「最適」調査分析
- (3) 「最適」新規事業開発
- (4) 「最適」教育研修
- (5) 「最適」物流
- (6) 「最適」商品企画・開発

- (1) 「適度」人事
- (2) 「適切」秘書
- (3) 「適切」購買
- (4) 「適切」総務
- (5) 「適切」倉庫



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			75
	客観性	思考的思慮深い			50
活動型	身体性	機敏な・気軽な			23
	気分性	感情のまま行動			47
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			66
	規則性	常識的・順法的			75
積極型	競争性	勝気な・積極的			48
	自尊心	気づらいが高い			53
自制型	● 慎重性	見通しをつける			90
	弱気さ	取越苦労・遠慮			57

■この人の中心性格は「自制・慎重性」および「思索・内閉性」であるが、「努力・規則性」や「努力・持続性」といった側面も本人は意識している。

●「自制・慎重性」及び「思索・内閉性」の人のパーソナリティスケッチ
 状況を鵜呑みにせず、見通しがつくまで容易に行動を起さない慎重さがある。思いやりがあり、自分を抑える良さがあるが、自分に自信がないためか、なにか問題が起こると自分に責任を感じすぎて、取り越し苦労をしてしまう。気弱で引っ込み思案であり、あまり快活な面がみられない。また、柔軟性やおおらかさに欠け、人前では緊張して堅くなりがちで、余裕がなくなると、多少不安定な行動をとる。こうしたことは、神経が細かく過敏なためにおこる。一般的に真面目で一途な人に、このような特性が多くみられる。ときに、漂々とした仙人のような生活ぶりや、空想癖があったりもする。周囲の雑音には全く関心をしめさず、自己の世界に内閉していて、審美的な生き方をしている。また、物事があるがままに客観的に見ようとする傾向より、主観的に判断することが多い。それなりの判断力を持ち、自分で確かに間違いないと思っていなくても、あくまでも自己の主張をつらぬくというより、その時の雰囲気やその場の状況など環境によって左右される。

●もう一方の性格特性
 行動力がなく、尻がおもたい印象をもたれている。身軽にテキパキと動きまわるといっても、内にもこりがちな性格といえる。また、環境への適応力に欠けるためか、新しい人や土地に対してはなかなか馴染めずに、人嫌いと思われるところがある。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			40
客観・科学型			50
社会・経済型			42
心理・情緒型			43
審美・芸術型			62

俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
 芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			30
協調性			26
責任感			76
自己信頼性			38
指導性			38
共感性			43
感情安定性			45
従順性			58
自主性			44
モトリアム傾向			59

今、自分が担当している職務以外は、あまり関心がない。相違点などは、歩み寄ったり譲り合おうとはせず独断的。任された仕事や役割を理解し、意見に責任を持っている。自己意見や態度などは、周りの状況に左右されてしまう。人を指導したり、中心となって仲間をまとめるのは苦手。

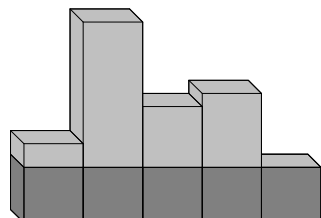
4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			49
自律 欲求			49
求知 欲求			27
危機 耐性			34
勤労 意欲			21
顕示 欲求			43
支配 欲求			34
親和 欲求			41
秩序 欲求			77
物質的欲望			47

珍しい事や新しい事よりも、安定した生活環境にいたい。危機に遭遇すると、自己を見失って実力が発揮できない。仕事はしかたないからしている、あまり働きたくはない。影響力のある関係の中で、人の上に立つことには消極的。支配関係や価値観など、周囲の状況を整理しておきたい。

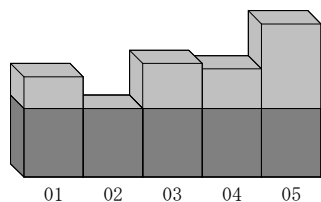
■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群となっている。逆に「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】



- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲

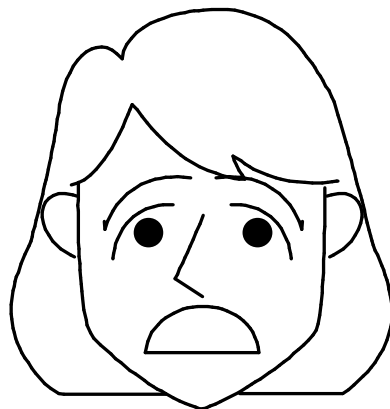
【組織だって仕事を進める能力】



- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性

【心理要素イメージ】

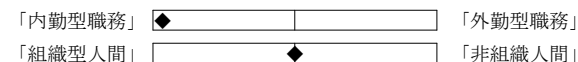
眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	60
(2) 海外など精神力の必要な職務	22
(3) 足腰のよさが武器になる職務	24
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	57
(5) 標準化された仕事や工場労働	44

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「適切」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (2) 「努力」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (3) 「努力」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (4) 「努力」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (5) 「努力」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (6) 「努力」企画、組織の運営、経営管理のような仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適切」経 理 専 任 者
- (2) 「適切」経 理 管 理 者
- (3) 「適切」基 礎 研 究 者
- (4) 「適切」基 礎 研 究 管 理 者
- (5) 「適切」営 繕 専 任 者
- (6) 「小適」秘 書 専 任 者

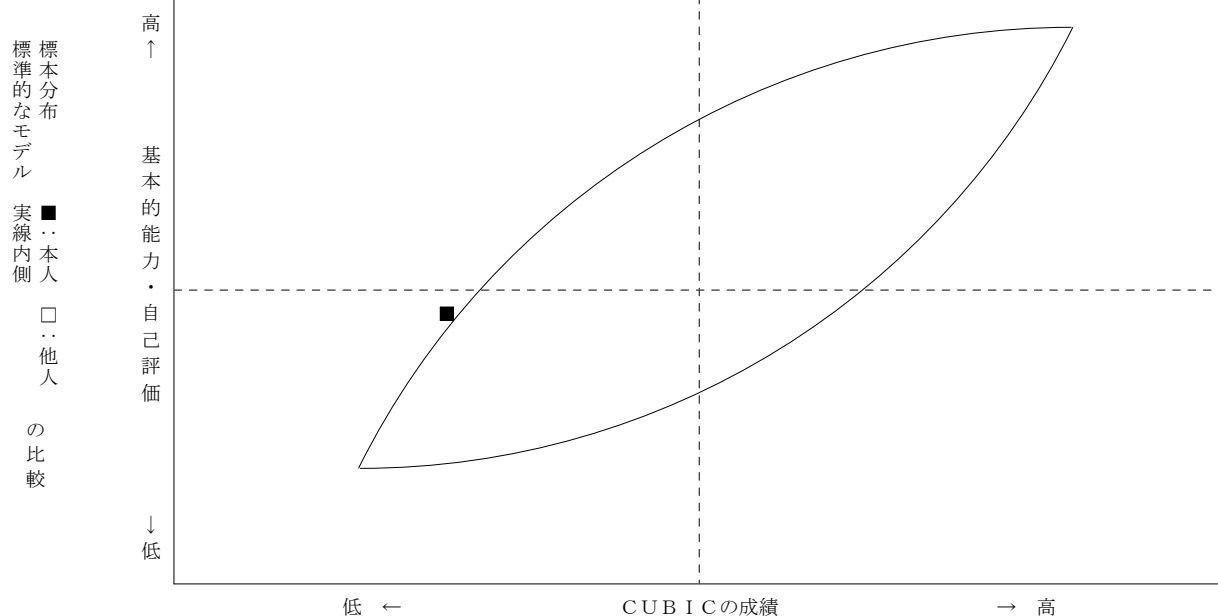
《低い順》

- (1) 「努力」広 報 管 理 者
- (2) 「努力」営 業 管 理 者
- (3) 「努力」広 報 専 任 者
- (4) 「努力」営 業 専 任 者
- (5) 「努力」企 画 管 理 者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「適切」品質管理
- (2) 「適切」購 買
- (3) 「適切」経 理
- (4) 「適切」倉 庫
- (5) 「適切」総 務
- (6) 「適切」庶 務

- (1) 「努力」経営企画
- (2) 「努力」教育研修
- (3) 「努力」顧客開発
- (4) 「努力」営業（積極タイプ）
- (5) 「努力」営業（活動タイプ）



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			58
	客観性	思考的思慮深い			42
活動型	身体性	機敏な・気軽な			58
	気分性	感情のまま行動			63
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			39
	規則性	常識的・順法的			66
積極型	競争性	勝気な・積極的			53
	自尊心	気ぐらいが高い			61
自制型	慎重性	見通しをつける			53
	弱気さ	取越苦労・遠慮			71

■この人の中心性格は「自制・弱気さ」および「努力・規則性」であるが、「活動・気分性」や「積極・自尊心」といった側面も本人は意識している。

●「自制・弱気さ」及び「努力・規則性」の人のパーソナリティスケッチ
 弱気であるといえ、自分に対する評価が低かったりすると自信がもてず、なかなか爽快な気分になれない。真面目で一途な性格だけによけい落ち込んだりする。人前などに立つとたちまち緊張し、必要以上にあがってしまうような過敏な神経の持ち主である。ミスのないよう綿密な計画をたて、慎重に行動しようとするが、能力以上のものになってしまうことがある。そうすると、当然のことながら目標を達成することはできず、気負いと劣等感とで揺れ動いてしまう。普段は地味に堅い生活をおくっている人といえ、マメなほうだといえる。コツコツと丹念に取り組む努力家だが、一つのことには没頭するような徹底性があり、それがしつこさとしてうつるときがある。どちらかという自分らしさを主張するより、周囲の評価を気にかけている。社会通念に生き、世間のきまりや常識を大切にするため逸脱した行動をとることはあまりない。行動や言動は手堅く大きな失敗をしないことは取り柄といえるが、規則を意識しすぎるとおもしろい発想ができなくなる。

●もう一方の性格特性
 丹念さに欠け、気の向くままにものごとに取り組むことが多い。一つのことに対するこだわりがないためか、飽ぼく、いろいろな事が長続きしない。逆にいえば淡泊な人で、他の価値観に生きていて、あまりモノに執着しない人といえる。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			52
客観・科学型			47
社会・経済型			30
心理・情緒型			52
審美・芸術型			53

世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			46
協調性			48
責任感			42
自己信頼性			31
指導性			38
共感性			36
▲感情安定性			14
従順性			65
自主性			44
モトリアム傾向			57

自己意見や態度などは、周りの状況に左右されてしまう。人を指導したり、中心となって仲間をまとめるのは苦手。独自の思考が強く、仲間と意思の疎通を欠くことがある。少しの事でも理性を忘れて、それが意見や行動に現れる。人の意見や指導などは、素直に聞き入れることができる。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

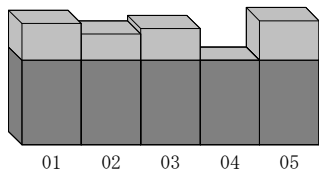
意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			32
自律 欲求			49
求知 欲求			50
危機 耐性			34
勤労 意欲			47
顕示 欲求			41
支配 欲求			34
親和 欲求			41
秩序 欲求			52
物質的欲望			47

苦勞がともなうのなら、目標を獲得しようとおもわない。危機に遭遇すると、自己を見失って実力が発揮できない。影響力のある関係の中で、人の上に立つことには消極的。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。逆に「人より優位に立ちたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

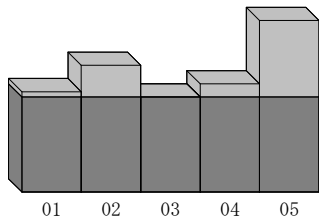
【仕事に立ち向かう姿勢】

- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲



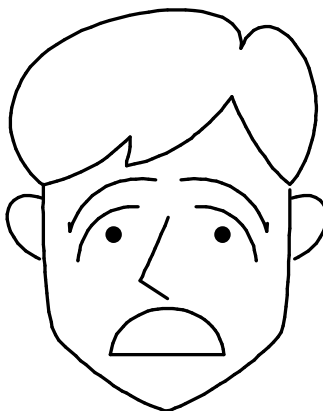
【組織だって仕事を進める能力】

- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性



【心理要素イメージ】

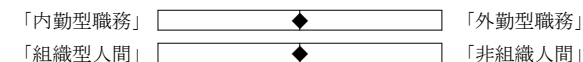
眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	42
(2) 海外など精神力の必要な職務	25
(3) 足腰のよさが武器になる職務	31
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	36
(5) 標準化された仕事や工場労働	36

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「努力」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (2) 「努力」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (3) 「努力」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (4) 「努力」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (5) 「努力」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (6) 「努力」企画、組織の運営、経営管理のような仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「努力」営繕専任者
- (2) 「努力」基礎研究者
- (3) 「努力」基礎研究管理者
- (4) 「努力」経理管理者
- (5) 「努力」経理専任者
- (6) 「努力」秘書専任者

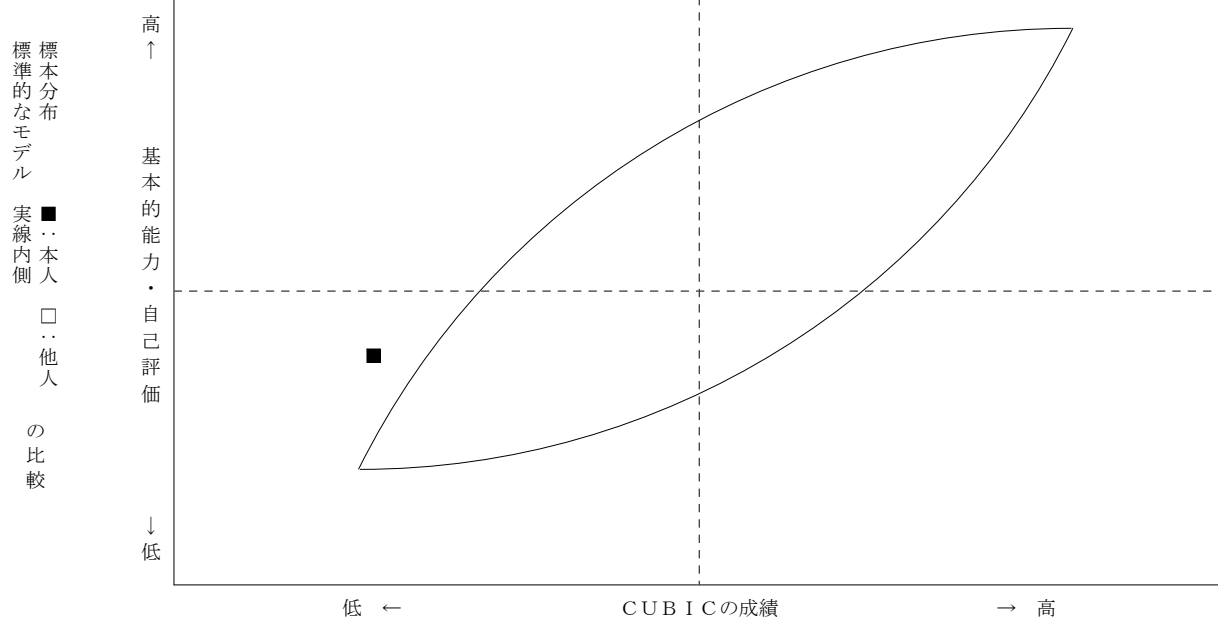
《低い順》

- (1) 「努力」企画管理者
- (2) 「努力」企画専任者
- (3) 「努力」人事管理者
- (4) 「努力」広報管理者
- (5) 「努力」人事専任者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「適度」購買
- (2) 「適度」倉庫
- (3) 「小適」物流
- (4) 「小適」受注窓口
- (5) 「小適」品質管理
- (6) 「努力」総務

- (1) 「努力」商品企画・開発
- (2) 「努力」経営企画
- (3) 「努力」調査分析
- (4) 「努力」新規事業開発
- (5) 「努力」教育研修



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			54
	客観性	思考的思慮深い			47
活動型	身体性	機敏な・気軽な			46
	気分性	感情のまま行動			42
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			56
	規則性	常識的・順法的			51
積極型	競争性	勝気な・積極的			53
	自尊心	気ぐらいが高い			53
自制型	慎重性	見通しをつける			53
	弱気さ	取越苦労・遠慮			42

■この人の中心性格は「努力・持続性」および「思索・内閉性」であるが、「積極・競争性」や「積極・自尊心」といった側面も本人は意識している。

●「努力・持続性」及び「思索・内閉性」の人のパーソナリティスケッチ
ひとつのことを途中で投げ出すようなことはなく、手掛けたことは成し遂げるまで頑張るといった徹底性がある。走りをはじめからパッと出る馬力はそれほどでもないが、息の長いスロースターター型で、地道に自分らしい事を続けていくことができる。また、几帳面であり、生活ぶりも規則正しく安定していて、努力を信条としている。そして、社会通念など規範のはっきりした物差しをもって、確固たる信念の持ち主といえる。しかし、規則や秩序に対して、あくまでも固守するといった頑固さではなく、独自の価値観のもとに行動している。発想も堅苦しいものばかりではなくユニークさもある。また、大勢の人とワイワイするのが嫌いだということではないが、価値観が違ったり、煩わしい人間関係の中にいるよりは、自己の世界に閉じこもり好きな事を考えていたり、空想にでもふけている方が落ち着くようである。物事の判断の仕方は、やや主観性が強いといえる。あまり目立つような派手さはないが、周囲からはわりと信頼されていたりもする。

●もう一方の性格特性
精神的には安定していて、不安症・劣等感といった神経症とは現在は縁がない。表面的にもオドオドしたり、イライラした感じは見られず、行動や発言にはしかるべき自分なりの理由をもって。暗い影のようなものがなく、明るい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数	
日常周辺事型			40	俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
客観・科学型			50	
社会・経済型			38	世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。
心理・情緒型			46	
審美・芸術型			66	芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答の正確さにやや欠けているが、全く信頼できないというほどの診断結果ではない。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			49
協調性			48
責任感			51
自己信頼性			53
指導性			53
共感性			52
感情安定性			45
従順性			52
自主性			50
モットー傾向			41

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			49
自律 欲求			46
求知 欲求			45
危機 耐性			61
勤労 意欲			47
顕示 欲求			55
支配 欲求			52
親和 欲求			41
秩序 欲求			52
物質的欲望			68

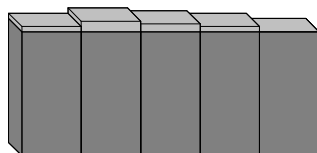
全面的な自我崩落にならない、危機対応力を備えている。

モノを獲得し保持したいなど、資産的な事に関心がある。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群となっている。逆に「対人関係が気になる」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】

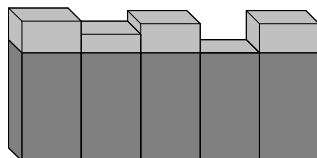
- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲



01 02 03 04 05

【組織だって仕事を進める能力】

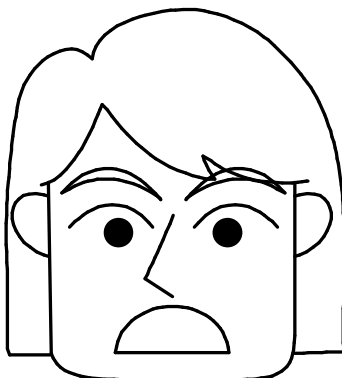
- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性



01 02 03 04 05

【心理要素イメージ】

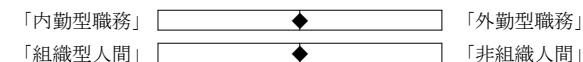
眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	██████████	46
(2) 海外など精神力の必要な職務	██████████	39
(3) 足腰のよさが武器になる職務	██████████	43
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	██████████	44
(5) 標準化された仕事や工場労働	██████████	43

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「適度」 研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (2) 「小適」 音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (3) 「小適」 営業など対人的接触をとまなう仕事
- (4) 「小適」 規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (5) 「努力」 物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (6) 「努力」 企画、組織の運営、経営管理のような仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適度」 基礎研究管理者
- (2) 「適度」 基礎研究者
- (3) 「小適」 営業管理者
- (4) 「小適」 研究管理者
- (5) 「小適」 営業専任者
- (6) 「小適」 研究開発者

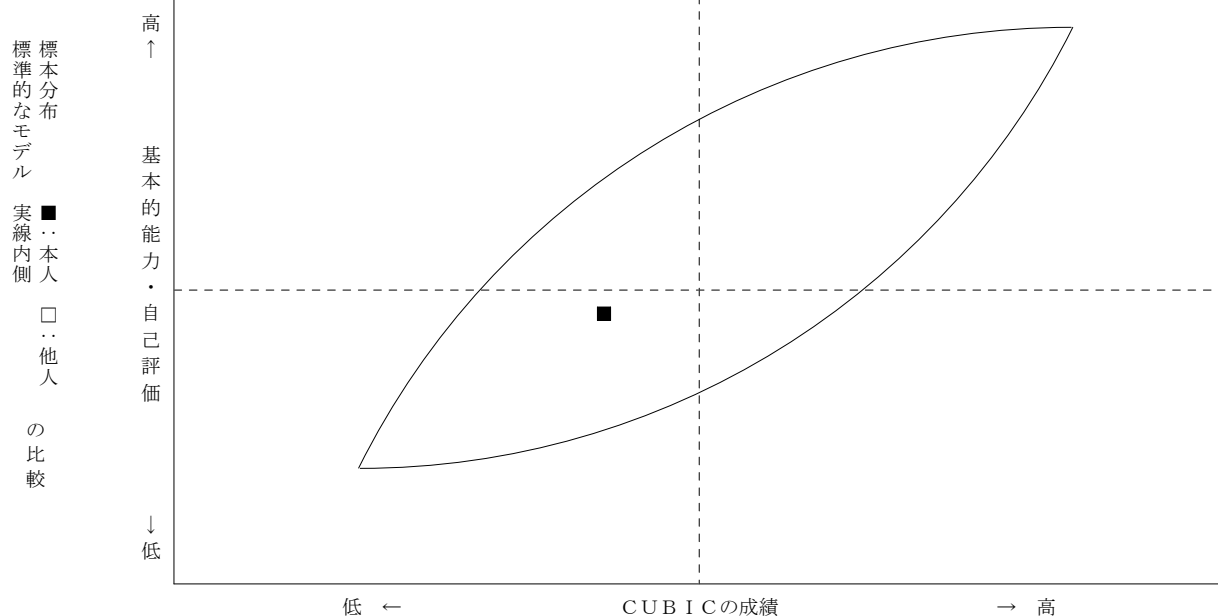
《低い順》

- (1) 「努力」 人事専任者
- (2) 「努力」 人事管理者
- (3) 「努力」 秘書専任者
- (4) 「努力」 営繕専任者
- (5) 「努力」 広報専任者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「適度」 基礎研究
- (2) 「適度」 品質管理
- (3) 「適度」 顧客開発
- (4) 「適度」 研究開発
- (5) 「小適」 経営企画
- (6) 「小適」 物流

- (1) 「努力」 人事
- (2) 「努力」 秘書
- (3) 「努力」 教育研修
- (4) 「努力」 受注窓口
- (5) 「小適」 購買



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			54
	客観性	思考的思慮深い			38
活動型	身体性	機敏な・気軽な			46
	気分性	感情のまま行動			54
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			39
	規則性	常識的・順法的			36
積極型	競争性	勝気な・積極的			55
	自尊心	気ぐらいが高い			61
自制型	慎重性	見通しをつける			50
	弱気さ	取越苦勞・遠慮			49

■この人の中心性格は「積極・自尊心」および「積極・競争性」であるが、「思索・内閉性」や「活動・気分性」といった側面も本人は意識している。

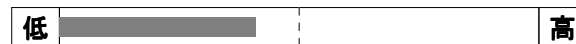
●「積極・自尊心」及び「積極・競争性」の人のパーソナリティスケッチ
 困難に遭遇したときは他に働きかけ、外にうってでる外向的な人。積極性があるといえるが、他罰的傾向もみられる。競争心がつよくて、他者と競合させると実力以上の成果をみせることもある。自己顕示欲があり、目立ちたがり。勝気な性格である。
 気位が高く、自分が評価されていると感じることが最大の満足。一人よがりな面がみられ、自尊心を満たすことで生きている。プライドを傷つけられないよう細心の注意をほらう。またおだてに乗せられやすく、ちょっと褒めてやるとその気になってしまう。

●もう一方の性格特性
 規則や秩序を気にせず、自由奔放な行動をとる。常識的、固定的な発想ばかりでなく、柔軟な考え方ができる。ルールにしばられてコチコチなわけでもなく、気ままな生活ぶりである。ただ、社会秩序を気にしないことが何に関係するか見極めが必要かも知れない。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			47
客観・科学型			50
社会・経済型			46
心理・情緒型			52
審美・芸術型			50

信頼係数



回答の正確さにやや欠けているが、全く信頼できないというほどの診断結果ではない。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			43
協調性			44
責任感			42
自己信頼性			41
指導性			41
共感性			47
感情安定性			41
従順性			46
自主性			51
モトリアム傾向			50

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			49
自律 欲求			52
求知 欲求			47
危機 耐性			38
勤勞 意欲			47
顕示 欲求			55
支配 欲求			45
親和 欲求			48
秩序 欲求			35
物質的欲望			54

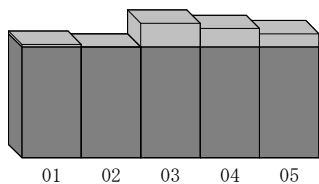
危機に遭遇すると、自己を見失って実力が発揮できない。

多様な価値観や人間関係、状態を認め理解しようとする。

■この人は「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「人より優位に立ちたい」系統の欲求群となっている。逆に「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

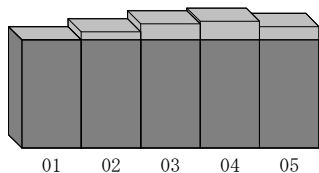
【仕事に立ち向かう姿勢】

- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲



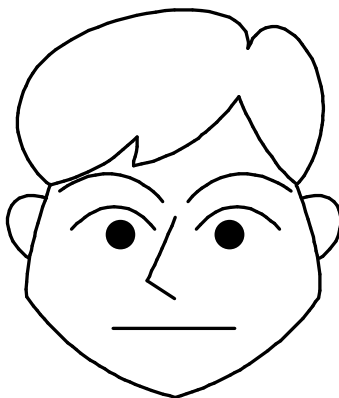
【組織だって仕事を進める能力】

- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性



【心理要素イメージ】

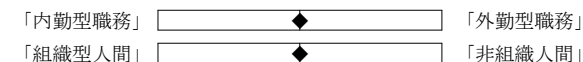
- 眉の太さ：指導性
- 眉の傾き：従順性
- 瞳の直径：達成欲求
- 目の傾き：達成欲求+求知欲求
- 鼻の高さ：顕示欲求
- 口の形状：親和欲求+協調性
- 顔の輪郭：性格類型
- 逆三角顔 = 思索型
- 丸顔 = 活動型
- エラ顔 = 積極型
- 角顔 = 努力型
- 細長顔 = 自制型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性		28
(2) 海外など精神力の必要な職務		25
(3) 足腰のよさが武器になる職務		35
(4) 集中力、緻密さの必要な職務		18
(5) 標準化された仕事や工場労働		25

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「適度」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (2) 「努力」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (3) 「努力」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (4) 「努力」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (5) 「努力」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (6) 「努力」企画、組織の運営、経営管理のような仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「小適」営業管理者
- (2) 「努力」営業専任者
- (3) 「努力」広報管理者
- (4) 「努力」研究管理者
- (5) 「努力」広報専任者
- (6) 「努力」研究開発者

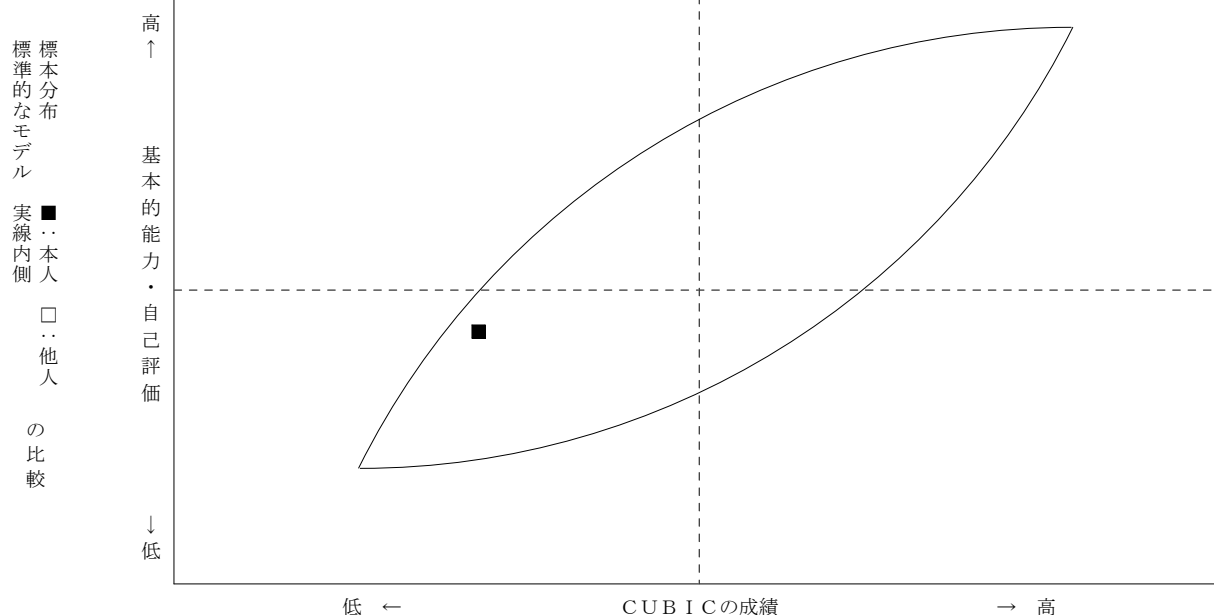
《低い順》

- (1) 「努力」営繕専任者
- (2) 「努力」経理専任者
- (3) 「努力」経理管理者
- (4) 「努力」秘書専任者
- (5) 「努力」人事専任者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「努力」顧客開発
- (2) 「努力」研究開発
- (3) 「努力」営業（活動タイプ）
- (4) 「努力」営業（積極タイプ）
- (5) 「努力」広報
- (6) 「努力」経営企画

- (1) 「努力」編集校正
- (2) 「努力」教育研修
- (3) 「努力」庶務
- (4) 「努力」経理
- (5) 「努力」調査分析



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			38
	客観性	思考的思慮深い			50
活動型	身体性	機敏な・気軽な			61
	気分性	感情のまま行動			47
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			53
	規則性	常識的・順法的			48
積極型	競争性	勝気な・積極的			53
	自尊心	気ぐらいが高い			53
自制型	慎重性	見通しをつける			61
	弱気さ	取越苦勞・遠慮			42

■この人の中心性格は「活動・身体性」および「自制・慎重性」であるが、「努力・持続性」や「積極・競争性」といった側面も本人は意識している。

●「活動・身体性」及び「自制・慎重性」の人のパーソナリティスケッチ
 行動的であり、思い付いたことは素早く実行する。環境への適応力があり、状況の変化にもたやすくついていける。やや思索性に欠けるきらいがあるが、実際の活動には向いている。行動的ではあるが情緒的にも安定しており、一定のリズムをもって生活をしている。また、手掛けはじめたことを途中で放り出すような気分屋的な所はあまり見られない。やや感覚的といえるが、発想も思い付きばかりではない。筋道をたてた理詰りな考え方をすることができる。一方では、過信せず見通しがつくまで動かないという慎重さも本質のひとつである。思いやりがあり自分を抑えるよさがあるが、問題が起こるとあっさりとしてしまうと、責任を一人で感じ、いつまでもとこし苦勞をしてしまう気弱な面とが交互にあらわれたりする。行動的なときはよいが、慎重すぎると自分のできることだけを内々に小さく表現しようとする傾向があり、失敗を恐れるあまり果敢にうってでることができない。しかし、病的な暗さはなく、手堅さは評価することができる。

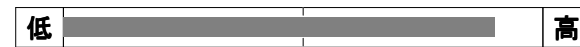
●もう一方の性格特性
 内向的でなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも腐心し、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるというサビの部分欠ける。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			40
客観・科学型			57
社会・経済型			42
心理・情緒型			46
審美・芸術型			58

俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			50
協調性			65
責任感			55
自己信頼性			50
指導性			62
共感性			55
感情安定性			57
従順性			39
自主性			57
モトリアム傾向			33

仲間に協力的であり、共通の目標に向かうことができる。

人に頼りにされ、皆をまとめるリーダー的な役割をする。

強く命令されたり注意されると、相手に対し反感をもつ。

今の環境や生活、生き方などに自信をもち安定している。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			55
自律 欲求			63
求知 欲求			45
危機 耐性			61
勤勞 意欲			57
顕示 欲求			43
支配 欲求			64
親和 欲求			51
秩序 欲求			52
物質的欲望			35

人に頼ったりするより、精神的に独立し自力で生きたい。

全面的な自我崩落にならない、危機対応力を備えている。

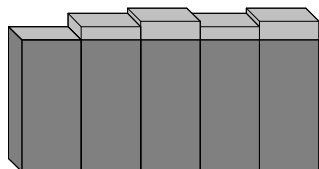
上下関係をハッキリさせ、影響力ある関係を形成したい。

モノやお金、資産などに未練を持たずあっさりしている。

■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群となっている。逆に「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】

- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲



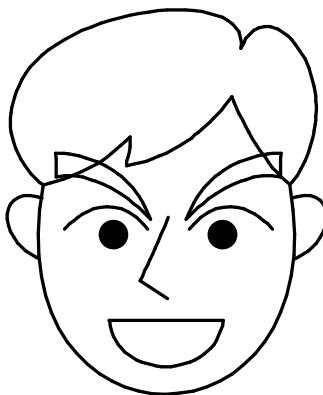
【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性
 瞳の直径：達成欲求
 鼻の高さ：顕示欲求
 顔の輪郭：性格類型

眉の傾き：従順性
 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 口の形状：親和欲求+協調性

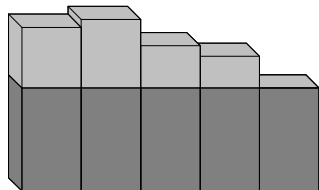
逆三角顔 = 思索型
 エラ顔 = 積極型
 細長顔 = 自制型

丸顔 = 活動型
 角顔 = 努力型



【組織だって仕事を進める能力】

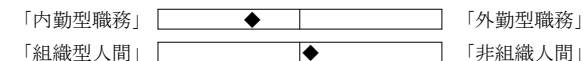
- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	■	51
(2) 海外など精神力の必要な職務	■	62
(3) 足腰のよさが武器になる職務	■	47
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	■	65
(5) 標準化された仕事や工場労働	■	62

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (2) 「適切」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (3) 「適切」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (4) 「適切」営業など対人的接触をとまう仕事
- (5) 「適切」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (6) 「小適」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「最適」基礎研究管理者
- (2) 「最適」人事管理者
- (3) 「最適」基礎研究者
- (4) 「適切」人事専任者
- (5) 「適切」研究管理者
- (6) 「適切」研究開発者

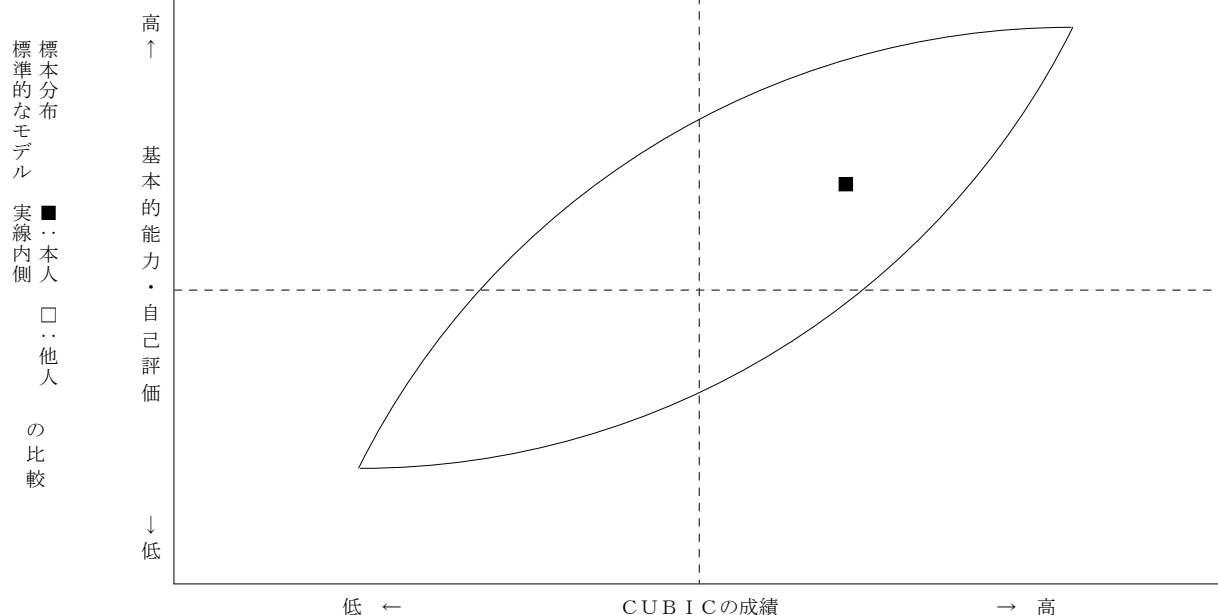
《低い順》

- (1) 「小適」営業専任者
- (2) 「適度」営繕専任者
- (3) 「適度」営業管理者
- (4) 「適度」経理管理者
- (5) 「適切」経理専任者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「最適」基礎研究
- (2) 「最適」編集校正
- (3) 「適切」物流
- (4) 「適切」新規事業開発
- (5) 「適切」研究開発
- (6) 「適切」調査分析

- (1) 「小適」営業（持続タイプ）
- (2) 「小適」営業（慎重タイプ）
- (3) 「適度」秘書
- (4) 「適度」受注窓口
- (5) 「適度」購買



1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			58
	客観性	思考的思慮深い			50
活動型	身体性	機敏な・気軽な			39
	気分性	感情のまま行動			42
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			45
	規則性	常識的・順法的			44
積極型	競争性	勝気な・積極的			50
	自尊心	気ぐらいが高い			50
自制型	慎重性	見通しをつける			50
	弱気さ	取越苦労・遠慮			42

●この人の中心性格は「思索・内閉性」および「思索・客観性」であるが、「積極・競争性」や「積極・自尊心」といった側面も本人は意識している。

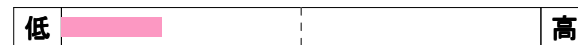
●「思索・内閉性」及び「思索・客観性」の人のパーソナリティスケッチ
 自分の殻にこもっていて、外界のことに興味がうすい。他人と接触することが面倒であり、交友関係を進んで持とうとしない。自己の世界に内閉していて、審美的な生きかたをしている。漂々とした仙人のような生活ぶり、空想癖があったりもする。
 しかし、ものごとをあるがままに客観的にみようとす傾向より、やや主観的に判断することの方がおおい。場の雰囲気や感情に左右されるような人間臭さもみられ、自分でひとり勝手に生きているようで、存在感のうすい印象である。

●もう一方の性格特性
 行動力がなく、尻がおもたい印象をもたれている。身軽にテキパキと動きまわるといよりも、内にこもりがちな性格といえる。また、環境への適応力に欠けるためか、新しい人や土地に対してはなかなか馴染めずに、人嫌いと思われるところがある。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数	
日常周辺事型			40	俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
客観・科学型			60	物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。
社会・経済型			50	
心理・情緒型			46	
審美・芸術型			62	芸術的関心が高く、世界を美的観点でとらえようとする。

信頼係数



回答に矛盾したところがおおく、信頼性に欠ける診断結果が出力された可能性がある。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			46
協調性			44
責任感			46
自己信頼性			56
指導性			44
共感性			43
感情安定性			53
従順性			43
自主性			54
モトリアム傾向			44

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			39
自律 欲求			52
求知 欲求			45
危機 耐性			50
勤労 意欲			42
顕示 欲求			43
支配 欲求			49
親和 欲求			37
秩序 欲求			38
物質的欲望			47

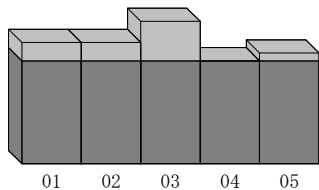
苦勞がともなうのなら、目標を獲得しようとおもわない。

競争関係の中で発揮される、個々の実力を重視している。多様な価値観や人間関係、状態を認め理解しようとする。

●この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「人より優位に立ちたい」系統の欲求群となっている。逆に「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

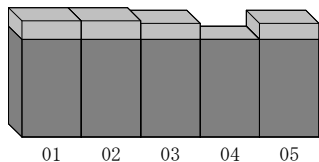
【仕事に立ち向かう姿勢】

- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲



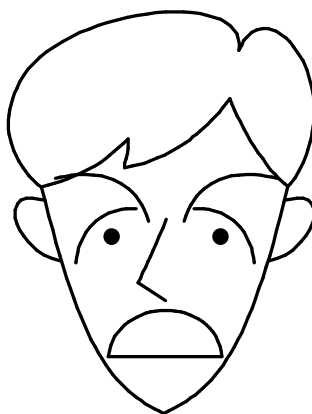
【組織だって仕事を進める能力】

- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性



【心理要素イメージ】

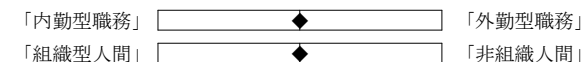
- 眉の太さ：指導性
- 瞳の直径：達成欲求
- 鼻の高さ：顕示欲求
- 顔の輪郭：性格類型
- 眉の傾き：従順性
- 目の傾き：達成欲求+求知欲求
- 口の形状：親和欲求+協調性
- 逆三角顔 = 思索型
- エラ顔 = 積極型
- 細長顔 = 自制型
- 丸顔 = 活動型
- 角顔 = 努力型



【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	■	32
(2) 海外など精神力の必要な職務	■	24
(3) 足腰のよさが武器になる職務	■	25
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	■	42
(5) 標準化された仕事や工場労働	■	29

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「適切」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (2) 「適度」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (3) 「努力」営業など対人的接触をとまなう仕事
- (4) 「努力」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (5) 「努力」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (6) 「努力」物を対象とする、具体的で実際的な仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適度」基礎研究管理者
- (2) 「適度」基礎研究者
- (3) 「小適」研究管理者
- (4) 「小適」研究開発者
- (5) 「努力」企画管理者
- (6) 「努力」経理管理者

《低い順》

- (1) 「努力」営業専任者
- (2) 「努力」広報専任者
- (3) 「努力」営業管理者
- (4) 「努力」秘書専任者
- (5) 「努力」広報管理者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「適切」研究開発
- (2) 「適度」基礎研究
- (3) 「小適」品質管理
- (4) 「努力」購買
- (5) 「努力」調査分析
- (6) 「努力」経営企画
- (1) 「努力」教育研修
- (2) 「努力」受注窓口
- (3) 「努力」営業（活動タイプ）
- (4) 「努力」営業（慎重タイプ）
- (5) 「努力」営業（積極タイプ）

